

漕 魂

18 号

1 9 9 6 年

長崎大学医学部漕艇部





'95西医体。府中湖にて。



1995年 府中湖にて Aクルー



コーチのチームと。



'96駅伝大会。4位入賞の快挙。賞品はカメラ。



春合宿。旧合宿所にて。



'95県漕。



目次

〈寄稿〉

戦後五十年……………	尾崎正若……………	1
思いつくまに……………	出口吾己……………	2
長崎に帰って来ました……………	氏家祐二……………	3

〈近況報告〉

新しい医療をつくる……………	松尾敏明……………	4
無題……………	宗英吾……………	5
無題……………	安田恵多良……………	5

〈練習について〉

平成7年度シーズンの反省……………	岡真一郎……………	6
昨シーズンの練習と反省……………	大石正雄……………	8
リギングについて……………	氏家祐二……………	9

〈平成7年度試合結果報告〉

15

〈卒業にあたって〉

贈る言葉として……………	古賀洋安……………	34
子々川……………	杉浦利彦……………	34

〈部員雑感〉

私の先輩の藤本さんについて……………	関徹……………	35
卒業にあたって……………	武野正義……………	35
願望……………	福田顕三……………	36
卒業にあたって……………	山里昌司……………	36

ボート部生活での故障歴……………	岡真一郎……………	38
引退して想うこと……………	岡田和一郎……………	38
嗚呼、すべてのフェチに光あれ……………	牟田口滋……………	38
日記……………	大石正雄……………	39
狼たちへの伝言……………	古賀聖士……………	39
レディ・ラック……………	崎本暢……………	41
無題……………	山崎励至……………	42
無題……………	鵜瀬匡祐……………	43
人生最良の日……………	高橋優二……………	43
自問自答……………	谷川治……………	43
人と出会い、ぶつかりあい、……………	福田義文……………	44
それでも支えあって生きてゆくこと……………	牧野淳……………	44
僕の夢……………	宮崎浩充……………	45
こたつの中で……………	宮崎浩充……………	45

山本さん、休み何やってたんですか……………	山本 経之……………	45
風見鶏……………	吉野 俊平……………	45
今年の目標……………	及川 将弘……………	46
ひとこと……………	渋谷 正樹……………	46
2月14日(晴)……………	土井 晋平……………	47
ジョンと私(海外ドキュメンタリー)……………	蓬萊 彰士……………	47
ナインティーンナインティーンシックス……………	程野 茂樹……………	47
今、想うこと……………	松永 祥志……………	47
ぼーとにたましいをひかれたものたち……………	森 創……………	48
SANDINISTA……………	ウィクァンロン……………	49
最高のランチタイム……………	蒲地 徹……………	49
雑感……………	松本 周平……………	50
酒……………	諸藤 陽一……………	50

〈その他〉

平成6年度長崎大学医学部漕艇部OB会収支報告……………	51
長崎大学医学部漕艇部OB会会則……………	52
漕魂の歌……………	53
琵琶湖就航の歌……………	55
OB会及び部員名簿……………	56
編集後記……………	70

〈寄稿〉

戦後五十年

尾崎 正 若

第二次世界大戦に無惨な敗北を歸した我国は戦争を放棄し、平和に徹することを世界に宣言したが、戦後五十年を経た今日でも沖縄は広大な米軍基地が残存し、米国兵士による暴行すら横行している有様で真の平和は未だ訪れてはいない。

一方、日本は唯一の被爆国として、核廃絶を訴え続けているのにも拘らず、フランスは世界各国の非難をもとめせず、自らの国内でもない太平洋モロア諸島で、島民の迷惑も省みず強硬に核実験を繰り返してやまない。

米国、ロシアさらに中国が核兵器を保有し、崩壊したロシアの核管理も危ぶまれるし、何時またチェルノブイリ様の事故を起さぬとも限らぬ。

私が原爆の事を初めて耳にしたのは旧海軍の横須賀海軍病院で被爆地を視察した士官の報告を聞いた時のことであった。全く灰燼化した広島市街、まる焦げの死体が累累とし、まるで地獄絵図そのもので、生き残っている市民も悉く物凄い火傷で、市民は戦意を喪失、虚脱状態であると結ばれた。

戦後何年かを経て、軍医学校の同期会が催された時判ったところで

は、同期生の一部は広島・長崎の被爆直後に救護活動に従事し、数日にして赤痢様の症状を起し、(腸粘膜は放射能に鋭敏で残存放射能の影響と思われる)さらに血液病などを発症したり、他にも身体不調を来した者も少なくなかったと云う。

他の分隊の一員、故塩月正雄先生(元東大精神科教授)は丁度長崎が被爆した時、大村の海軍病院で当直士官として神経症の患者の説明をされていた最中で、突如閃光を感じ、三日前に広島に投下された「特殊爆弾」が被害甚大であったことを知っていただけに一種、不安な気持ちで秒読みに入り、五十五秒後に猛烈な轟音に続き強い爆風が押しよせ、計算で長崎と大村の直線距離に一致したと先生の日本語と英語による報告書に記されてある。先生は其の夜陸続として大村駅を経て運ばれて来た六百余名の極めて重症の被爆者の火傷患者の治療に参加し、症状より経過、次々と死亡した患者の病理解剖に到る所見を記されている。

原研の西森教授がこの塩月先生の記録を所持して居られることが判って、貞森先生らのご協力を得て復刻版を発行し、各国大使館などにも送付し、及ばず乍ら原爆の真実の啓蒙に努めた次第である。

現実にはワシントンのスミソニアン博物館で、原爆被災資料の陳列する計画に対して、米国在郷軍人らは、これに反発阻止し、原爆を投下したのは、日本軍閥が、あくまで戦争を止めないので、戦争の早期終結を図った正当手段であったと主張した。非戦闘員の一般市民、老人婦女子を無差別に何十万人も一瞬にして殺戮した行為。凡そ人類愛に悖ることを正当視するとは言語道断、まるで狂ったオウム真理教が、発幻覚剤を人間にテストしたよりも遥かに残酷なことで原爆の威力を日

本人を愚弄して、一度ならずとも二度も人体実験をやったとしか考えられない。

中国は日本は米国の核保有国の傘下にあるので核廃絶に対して発言権は無いと言う。

日本の為政者がドイツの様に正堂堂と男らしく戦争中の行為を謝罪して、向後の行動に移ることをやっていない。中途半端な印象で、しかも失言或は本音をもらしては指摘されると慌てて謝るなど不手際を反復している有様は、真にお粗末である。もっと確実な運用を望み度いものである。色々問題はあろうが正しいと思って述べたことは主張し続けたら宜しく、なまじっか謝ったりするから「くせ」になっている様にも思える。

何れにしても、原子力の利用をはじめ科学の進歩を善用するも悪用するも要は人間一人一人の自覚と責任に待たれる。心すべきことと思う。

医を志す者心身を病む人々を真のヒューマニズムに燃え、自己のベストを盡して救うべく努力しようではないか。

思いつくままに

出口 正 己

大学を卒業して既に16年が過ぎましたが、これまで「漕魂」に投稿したことはありません。自慢しているわけではなく、ただ文章を書くこ

とが不得手というだけであります。

今回 Macintosh に向いキーボードを叩くことにしたのは、いつも皆さんの寄稿文を楽しく読ませてもらい、私にも投稿する義務があると思ったからです。

まず兵庫県南部地震のおりは、励ましのお言葉をいただき有り難うございました。(ちなみにこの地震により起こった災害を関西大震災と呼称します) 私は神戸市東灘区に住んでおりますが、ご存知のとおり被害の大きかった地域であります。勿論、私にとって今回のような大災害を引き起こすような地震は初めての経験でした。まず震度7の激震は、その揺れの激しさと長く続いたことにただ驚くばかりでしたが、続いて起こる余震は地下で起こっているであろうことを想像させ、地鳴りと揺れが続き、最終的にどうなるのか誰にも分からないという恐怖は堪え難いものでした。ビルの崩落、倒壊、あるいは燃え尽きるまで消えない火事などは、私のこれまでの常識を覆すものでした。

間断なく続く地鳴りを伴う余震から起こる恐怖のため、翌日すぐに家族5人が愛車パジェロに乗って神戸を脱出して北九州へ避難しました。高架となっている阪神高速道路とビルや民家の倒壊、そして火災により大渋滞が起こり、神戸を出るだけで7時間くらいかかりました。電気の回復は早かったのですが、ガスと水道の復旧には二か月くらいかかりました。

私の勤務する病院は大阪梅田にあり、電車が復旧するまで、单身病室に泊まり込んで診療を行っていました。現在の神戸は、全壊した建物の撤去はほぼ終わっていますが、半壊あるいは一部損壊の建物はこれから撤去あるいは修復といった段階です。大きく報道された阪神高

速道路神戸線の損壊はほとんど全線にわたっており、今修復工事を行っていますが、完全復旧は平成8年末になるようです。

ところで、昨年の「浦上川乗艇イベント」では大変に楽しい思いをさせていただき有り難うございました。私の本来の目的は、丹羽教授就任祝賀会へ出席することで、乗艇するつもりはありませんでした。なぜなら、私なりにボートとは日頃運動をしていない者が漕げるしろものではないと思っていたからです。しかし目の前にエイトを見て、誘いの言葉をかけられると、甘い誘惑にはかたず結局乗ってしまいました。一旦乗艇してしまうと危惧していた体力の衰えを忘れて無理をしてしまうわけです。案の定、古傷の腰痛が起こり仕事の次に大好きなゴルフがしばらくできませんでした。やはりボートは学生時代に基礎トレーニングをして鍛えられた身体で漕ぐもので、体のだぶついた中年男はゴルフくらいにしておいた方が安全というのが実感であります。

今日は11月17日、快晴です。マロロが大阪で開催され、昨年全国大統領クリントンの訪日中止が報道されました。今朝の新聞には、宿泊が予定されていた大阪ロイヤルホテルの落胆の様子が出ていました。一般報道はされていませんが、中華人民共和国が使用する予定のホテルが急遽変更になったり、大阪に初めての国際的会議を招致するにあたりかなりの混乱があったようです。

日本の全てが東京に集中しているわけで、東京へは時々出かけるが、関西はめったにという人がほとんどでしょう。大阪は九州はもちろん、西日本から移り住んだ人達が多く、実際に住んでみると生活に違和感が少ないと思います。関西にお出かけの機会がございましたらご一報下さい。

最後に丹羽正美教授、村上文也先生はじめ医学部ボート部OB会のお世話をされている先生方に感謝します。

また最近の競技成績を見ると私たちの時代には考えられないような素晴らしい実績を残しており、現役部員の学生諸君にはこれからも頑張ってもらいたいと思います。

“長崎に帰って来ました。”

氏家 祐二

今年四月に四年振に長崎に帰って来ました。長崎到着早々歓迎会を催して頂くなど、誠に有難うございました。今回の長崎での努めは長期を予想し、自宅を新築致しました。現在、妻と三人の子供と長崎での生活をエンジョイしています。さて、ここで今年度のAクルーの状況について若干ご紹介したいと思います。初めて四月に見た時には、はっきり申し上げて技術的にかなり未熟な状態で、とても対外レースに出場出来るような状況ではありませんでした。しかし四月以降、長距離漕を主体にした基本練習およびシート配置替えなどによるローイングイメージチェンジなどを実施した結果、夏の西医体前にはなんとカレースに出ても恥ずかしくない状態になりました。結果的には三位と、昨年の成績には及びませんでしたが、春先の惨澹たる状態からすればクルーの諸君も十分満足したのではないかと思われます。今後のコーチングに関しては、現在私の仕事が大変忙しい事、また、小さい子供

が三人もいるため、ある程度家族サービスもしなければならぬなど、以前の様に毎週コーチするのは難しいと思われます。しかし、出来る限り協力したいと考えています。今後共宜しくお願い申し上げます。

〈近況報告〉

新しい医療をつくる

松尾 敏 明（平成6年9月卒）

朝霧晴れて 病院の

白樺窓に 揺れるとき

手をとりあって 歌おうよ

農民とともに 進むうた

山の彼方に こだまして

国いっばいに 響くまで

95年春、私もようやく医者となり、現在は夫婦そろって長野県の佐久総合病院という所で働いております。学生の頃、若月俊一の『村で病氣とたたかう』（岩波新書）に感動しここへ来ました。このほかにも若月先生や佐久病院を取り上げた本や番組、映画は数え切れない程ありますが、何がそんなに凄いのでしょうか？——それは、ここへ来たての私が傍観者という立場から思うに、常に患者さんのために最善のものが与えられるよう若月先生を中心に佐久病院と地域が一緒になって苦悩し、改善している点だと思います。それがまた医療だけでなく医療制度までも改善していこうという姿勢が感じられるのです。先の歌は佐久病院で朝昼夕流れている『農民とともに』（詞・若月俊一）という歌です。正に50年前この地へ左遷された若月先生が斜陽の一途

を辿ることなく、自らの信念で地域医療に取り組み、日本中の、そして世界中の医療に影響を与えよう（事実、影響を与えた私は思っている）という態度の現れが感じられます。しかし最近では地域医療を真面目に行っている各界の方々からは批判され、相手にされなくなってきたというのもまた事実です。それでもここは今でも梁山泊のようなところがあって、かつては長崎の医師会長殿に『長崎の恥』とまで言われしめ、余程学問とは縁遠かった私ではありましたが今では医療というものについて真面目に考えることが多くなりました。

学生るとき佐久病院に来て当時84歳の若月先生に会った私はとっさにポケットのなかにあった紙切れに何か書いてくれと差し出したのです。相変わらず図図しいのですがミィハーなので仕方がない。すると若月先生は初対面の私が差し出した紙にこう書いて下さったのです。

新しい医療をつくる

とにかく私は感動しました。正にそれは87年4月ボート部入部を決めたあのときの琵琶湖周航の歌と同じ感動であったのです。

追記

95年の夏、漕艇部で唯一の同期だった竹下先生からわざわざ長野まで「まっちゃんは国試落ちたの？」という電話があったと妻真里（26歳）から聞きました。竹下浩明（28歳）いいマラを持った男である。

今でも強いボート部のこと、頼もしく思っています。今の気持ちを忘れず大切にして下さい。

宗 英 吾（平成7年卒）

安 田 恵多良（平成7年卒）

来年も、再来年も、その次も……
いつまでも強いボート部でいてね。

〈練習について〉

平成7年度シーズンの反省

5年 岡 真一郎

最近の西医体のレベルはどんどん上がってきており、我がクラブは'94年度西医体で優勝を果たしてはいるものの、その波についていくのは並大抵のことではない。'95年度西医体4十部門のAクルーはレースを経る毎に調子を上げていき、決勝では持てる限りの力を出しきれて、タイムとしては非常に納得のいくものをだせたのだが、それでも滋賀医大の泰斗、熊大の蒼風に歴然とした力の差をみせつけられた。悔しいというよりも途方に暮れてしまったというのが正直な心境である。この現状を打破するにはどうすればいいのだろうか。'95年度シーズンを反省しながらひもといていきたい。

この年のオフシーズンの練習は全体的に十分なものだったとはいいい難い。

まず9～11月にかけての乗艇練習は、三校戦にむけて下級生を教育する目的で、上下級生混合の実力均等クルーを作ったが、国体が少雨による渇水のため10月下旬にずれこんだために、その夏に西医体優勝を経験したメンバーをクルーに組み込めず、実質下級生の教育効果は薄くなってしまった。この時期に実力別のクルーを組むか実力均等のクルーを組むかは、その年の幹部の方針によって異なるところだと思

うが、私個人の意見では、一年生二年生の秋に最上級生やAクルーの先輩と同じボートで漕ぐ経験は貴重であり、その成果が、直後の三校戦や九山の成績につながるにしても、西医体の成績ひいては一年後二年後のクラブ全体のレベルアップに必ず響くものなので、実力均等クルーを推めたい。

次に陸上トレーニングについてであるが、上下学年で講義のカリキュラムが変わったことで、試験期間が全くかみ合わなかったため、全体練習が少なくなった。またインフルエンザが大流行したため、少人数での練習が主になったのでクラブ全体の士気が高まらなかった。体力アップはほとんど達成できなかったと思う。

多少言い訳がましくなった。陸上トレーニングの方法は前号の部誌を参考にしようことにして、練習の心構えとして特に言っておきたいことは、常にレースを想定するということである。例えばサーキットでタンツェン1分のうち、最初の15秒をスタートローイング、15～45秒を中盤、45秒～1分までをスパートと考える。スタートで飛び出て中盤そのスピードを持続させ、スパート2枚上げでピッチをかせぐ、というイメージをするだけでトレーニングにめりはりがつくし、自分の弱点を見直していろんなレース展開を想定すると更に幅が広がってくる。その際に今まで負けたレースの中で一番悔しい、倒したい奴らの尻を思い切り蹴り上げるイメージを忘れないように。とにかく自分のやった苦しい練習内容に満足するな！練習で力のついた自分を実感しながら常に上を目指してほしい。

春のクルー編成で昨シーズンはBクルー相当を2クルー組んだ。非常に典型的な例で、一昨年のBクルーで身長差のある山本と宮崎が同

クルーとなり、レンジの違いから二人の長所を殺してしまった反省点から、なるべく身長を揃えたクルーを作ろうと考えた末の策であったが、結果として両クルーのライバル心が適面に表れ、うまい具合に力を引き出せたと思う。

このシーズンに実感したのはコーチの重要性である。昨年、氏家コーチが練習を見に来て下さるようになったのは九州朝日レガッタの2週間前だった。4月の九山で優勝を目指していたAクルーは熊大、佐賀医大に敗れ、その後もそれまでの練習のながいけないのかもわからないまま、ただ練習量を増やしてみたもののなかなか調子が上がらないままに試合の直前となって、「このままでは九朝の決勝にさえ進めないかもしれない。」と、かなりナーバスになっていた時期だった。

まず氏家コーチから指摘されたのは、目先の試合はどうでもいいから、西医体に照準を絞って練習計画をたてること、つまりその時点でやるべきは九朝のためのセット練習ではなく、レート20以下のライトパドルを長時間漕ぎ続けることである、ということだ。確かにその時は基礎の練習をじっくり仕上げていきたいが、九朝のレースも気になるジレンマに陥っていたが、コーチにそういつてもらえることで割り切ることができ、とても気が楽になった。また乗艇時にもモーターボートの上からつきっきりで技術的な指導をもらうことで、その場で欠点を直すことができたし、練習中の緊張感も自然と増した。また県漕後には、バウ整調やイタリアンなど様々なポジションチェンジを試すように推められ、それまでそのような意識が全くなかった我々はかなりとまどったが、艇を速めるためにシーズン中にそのくらいのことをする思いきりを学んだ。その他氏家コーチにはリギングについて(後

の頁を参照)詳しく解説して頂いたり、艇の道具の購入に関してもお世話になった。

また、九朝前の同時期にチームが長崎に戻ってこられて、週末に2週に一度コーチをして頂けることになり、主に練習メニューをたててもらうことになった。このメニューの中に乗艇バージョンのスレッシュールドがあり(後の特集を参照)、これはそれまで経験したことのないしんどい練習で殺す気かと思ったが、この練習でかなり体力アップし、レースを漕ぎ切れる自信がついた。またチームは西医体に行きつてくれ、試合前にはとても勇気づけられ、心の支えになってくれたおかげで、レースでは実力以上の力がだせたと思う。

昨年の西医体の決勝を経験して痛感したのだが、スタートでリードされると優勝する実力のあるクルーとはまず勝負にならなくなってしまふ。逆にスタートでリードすると、レースを組みたてることができ、厳しいレースでもかなり精神的に楽になる。我がクラブのレース展開はここ数年だいたいのクルーがスタートに弱い。別にスタートで手を抜いているわけではないのであるが、どうしてもスタートで他のクルーにリードを許してしまう。この弱点を克服するには、普段の乗艇練習から、また冬の陸上トレーニングでも、スタート(動き出し)の力強さを強調し、その力強さをできる限り持続するように心がけると試合での自信がつくと思う。またスタートの技術的な面(リズム、レンジなど)もコーチと相談して考え直してもいいと思う。

昨シーズンは故障者が多くでた年でもあった。ボートを漕ぐ以上腰を痛めるということはある程度は必然なので、冬のうちから夏に故障しない体力をつけてもらいたいし、また上級生は特に1年生に故障を

なるべく味わせないように配慮すべきだと思う。

西医体で優勝することは年々難しくなってきた。試合で思うような結果を出せずにイラ立つこともあるだろう。でもそういうときこそリラックスして、身近なところから、できることをやり続けてほしい。問題を正すにはそれしかない。ボートを漕いで学ぶべきところは、そういうあきらめない精神だと思う。是非、目標を達成してもらいたい。

昨シーズンの練習と反省

4年 大石 正雄

昨シーズンはクルーが決まるのが遅く、私がAクルーに乗ったのは4月に入ってからである。ここではそれから西医体までの期間の練習について思うところを書いてみたい。

去年の練習の特徴としては、やはり氏家さんとチームの2人のコーチの影響が大きかったことが挙げられる。

まず、氏家さんに教えていただいたことについて述べてみる。学んだことの中でいちばん大きかったのはリギングだが、それは別の項で氏家さん自身に述べていただいて、ここでは試合後のクールダウン、ワイドグリップ、足蹴りについて触れようと思う。

クールダウンはレース後すぐには戻らずに500～1000m程度ライトパドルを漕ぐ積極的疲労回復法で、レースの多い大会では非常に役に立つ

た。なおクールダウンはレースに限らず負荷の大きい練習の後には必ずやるべきであるとチームも言っていたが、この場合には10～15分のライトパドルが望ましい。実際には厳しいメニューをこなした後にこれだけ漕ぐのは漕手にとってはいやなもので、あまり行うことはできなかったが、次のCOXの人には心を鬼にしてやらせてもらいたい。ワイドグリップはインサイドの手をブレード側に大きくずらして握る漕ぎ方で、アウトサイドの手でのブレードコントロールの練習に有効であり、手・肘・肩を使ったテクニックにも関連している。インサイドの手を遠くで握っているためヒップターンの練習にも役立つ。あと、レースのときに使う足蹴りについてであるが、最近では1レース中に足蹴り10本を2回、アクセントの様にに入れていたが、氏家さんが言われるには足蹴りと言うのは先のことを考えない全力の蹴りの事であり、1レース中に多くても5本程度しか使えないものらしい。練習やレースで試してみたが、その後のために力を残さない程蹴るので使いどころが非常に難しい。ただその分足蹴り中の艇速の伸びはかなり大きく、競り合っているときに使えば相手の戦意を奪うことが可能であろう。去年はこの足蹴りと今まで通りの足蹴りを使い分けていた。これらの他にもシートチェンジなど教わったことは数多くあるがそれについては別に岡が述べているのでそちらに譲る。

次にチームにコーチしてもらったことに関してであるが、一番助かったのは練習メニューについてである。Anaerobic Threshold Workoutといって、今までパドルを漕いだ時間だけ次のセットまで休んでいたところを、漕いだ時間の半分だけ休むというものを教わった。ストロークレート(SR)は今までのパドルのセットと比べ若干落ちる

が、指定したSRは守らせ、休みもキッチリ $\frac{1}{2}$ しか取らないためかなりの負荷となる。また、レースレート以上のSR(36以上)で1~2分漕ぐ練習も、体力面だけでなく実際のレースで慌てないという点においても非常に有効であった。このときの休憩は何分取っても良く、その代わり蹴りは全力で、という練習である。他にもロングを教わったが、今までのロングとは長さが違い昨シーズンのAクルーでは50分まで連続で漕いだ。氏家さんも1時間でも2時間でも漕いだ方が良いと言われていたが、怪我等のため実際には難しかった。あと、細かい部分ではポーズドリルのときに3ストロークの間に1回だけポーズする方法や、1ストロークの間にポーズ1・2・3の様に3回連続でポーズする方法などを学んだ。また、特にショートキャッチやシットアップを強調していた。

最後に練習の反省を書く。「自主トレ」の日が多かったが、これは授業や試験、怪我のためクルー全員そろうことが困難なことが多かったため自分の空いた時間に練習を行ったということである。また、それぞれ自分の怪我の状態(例えば腰痛の程度)にあわせてラン・ウェイ・トレニング・サーキット・エルゴから選んで行なった。流石にAクルーなどだけに見張る必要もなく、全員自分に厳しくほぼ毎日こなしていた。反省としては怪我や故障のためにメニューを消化しきれないことが若干あった点と、ほんの僅かだが中だるみがあった点が挙げられる。しかしあれだけ故障が多かった状態であの練習量をこなしたということ、漕手は皆ほぼ限界まで頑張っていたと言える。西医体は滋賀医大や熊大に負け3位だったが、タイムは全く恥ずかしくないものだったと自負している。(ボート競技ではタイムはあまり意味を持た

ないのかも知れないが。)また、全く個人的な反省としては、COXとして技術的に未熟だったことはもちろん、精神面でも漕手の気持ちをコントロールする、つまり士気を高めたりすることが非常に下手であったことが挙げられる。自分がしっかりしていないためにクルーを不安にさせたり、よけいなことを言って混乱させたりしたことが多々あった。自分に厳しく、また自信を持って常に堂々としていてほしいと全てのCOXに願う。この記録が滋賀医大に勝つために少しでも役立ってくれば嬉しい限りである。

リギングについて

氏家 祐二

リギングとは、英語のRigging即ち船の用語で航行の準備・仕度のことであり、漕艇競技の場合、艇を漕ぎ易くするための艇・オールの調整を意味します。リギングで調整すべきものは以下説明する様に結構たくさん項目があり、初めて使用する艇でゼロから調整する場合には、熟練した私でも2時間はかかります。学生の皆さんの場合は、慣れるまでは半日程度はかかると思いますが、面倒がらずにしっかりと下さい。クルーによっては、リギングの調整次第で格段にパフォーマンスが良くなる事があります。

以下、私が東京大学漕艇部のヘッドコーチをしていた時に作成した以下の資料に基づき解説します。

添付資料① 東大漕艇部 標準リギング表……以下標準表と略称。

添付資料② リギング記録フォーム……以下フォームと略称。

1. オールの設定

現在殆どのクルーが米コンセプト製のビッグブレード付きのオールを使用していますのでこれを前提に解説します。

(1) ブレード（ビッグブレード）とオールの長さ…

スウィープのビッグブレードは現在、長さが52 cmと55 cmの2種類がありますが、医学部クルーの体力からみて52 cmのものが良いでしょう。長さは現在373 cmのミディアムを使用していますが、小柄なクルーは371 cmの短い方がよいと思います。（ミディアムサイズのオールはハンドルを2 cm切り落とすとスモールサイズになります。）

(2) インボード・艇子比…

インボードの設定は自転車に例えれば、ギア比の設定です。エイトの様に速い艇ではインボードを短くし、付きペアの様に遅い艇ではインボードを長くします。医学部の付きフォアの場合、115 cm程度が適当かと思っています。（標準表を参照）

2. リガースプレッドについて

リガースプレッドは、設定したオールのインボードで漕いだときに、上体が艇の上で無理なくスムーズに動ける様に調整するもので、一般的にインボードから30 cm（これを「はみだし」と言う）を差し引いた値とします。（リガースプレッドの計測は、先ずスケールで艇の幅を計測し、これを $\frac{1}{2}$ した値をガネルに合わせると簡単に計測できます。）

(1) スウィープのはみだしについては上記の通り30 cmが一般的ですが、私の考えでは身長170 cm以下の体格の小さい者や女子については、28～29 cm程度が適当かと思っています。

は、28～29 cm程度が適当かと思っています。

(2) スカルの場合は、インボードの合計（2倍）からリガースパンを差し引いた値がオーバーラップと言われるもので17 cm程度が一般的です。但し、初心者や体格の小さいものは15～16 cm程度が良いでしょう。

高さに関する計測は全てシート上面の最下部を基準点として計測します。（フォームの計測要領図を参照）クラッチ高さの本来の目的は、ハンドルの高さを最も漕ぎやすい位置に設定するためのものです。従って、艇の浮き沈みや体格の違いなどにより、人によってかなりばらつきが出てきます。

3. クラッチ高さ

高さに関する計測は全てシート上面の最下部を基準点として計測します。（フォームの計測要領図を参照）クラッチ高さの本来の目的は、ハンドルの高さを最も漕ぎやすい位置に設定するためのものです。従って、艇の浮き沈みや体格の違いなどにより、人によってかなりばらつきが出てきます。

(1) スウィープの場合17 cm程度が一般的ですが、実際に漕いでみて自分が最も漕ぎ易い様に自由に設定して下さい。（だいたい、16～18 cmの範囲になると思います。）

(2) スカルの場合も17 cm程度が一般的です。但し、スカルの場合は途中で左右のハンドルが交差しますので、左手のクラッチを右手より5～10ミリ高くして下さい。

4. ストレッチャー位置

ストレッチャーの調整について無頓着な漕手が多い様ですが、最もパワーを発揮する脚を支えるところですので下記の項目について十分に調整して下さい。（ストレッチャーの取り付け位置等、艇の長手方向の計測については、フォームに記載の通りクラッチのピン（軸）

が基準となりますので、予めこのピンの位置をガネルにマークしておくと便利です。

(1) ストレッチャー板の角度については40度〜45度ですが、42度が一般的です。

(2) 踵の高さについては日本人の場合、14〜15 cm程度が一般的です。特に脚の長い者や、足首の硬い者は15〜16 cmと低めに設定すると漕ぎ易くなります。

(3) ストレッチャーの取り付け位置（艇の長手方向）によってローイングアーク角度（特にフィニッシュ角度）が決定されます。（体格の大きく異なる漕手がいるクルーの場合は、キャッチの伸び方を調整してキャッチ角を合わせる様にします。）フィニッシュ角を合わせるために先ずレール位置を設定します。即ち、通常のダブルアクション式のシートの場合では、レールの後部エンドストッパの内側をピンから63 cmの位置に固定するか、又はテープ等でこの位置にマークします。次に艇を水の上に浮かべて一人ずつ乗艇します。そして脚を伸ばした時にシートのコロが丁度レールのエンドストッパ（又はテープでマークしたところ）に当たる様にストレッチャーの位置を固定します。（ストレッチャーを固定した後は、実際漕ぐ時に支障があれば、レールの位置を適当にずらして下さい。）この結果、靴の踵からピンまでの距離（フォームの計測値①）は一般的に25 cm〜30 cm程度になります。

5. ブレードピッチ

ブレードピッチとは、垂線とブレードが成す角度のことで、（良くカバール角と呼ばれます。）漕いでいる時にブレードが水中に潜り込む

のを防止するためのものです。一般的なブレードピッチは4度〜6度程度となります。

(1) ブレードピッチを調整する準備としてピン（クラッチ軸）をリガーにセットします。即ちピンの前傾及び外傾をセットします。一流選手の場合は前傾、外傾共に0度にセットする場合がありますが、学生の場合は技術が未熟でキャッチでブレードが深く潜り、フィニッシュでは逆にブレードが浅くなる傾向がありますので、これを矯正するために外傾を1度〜2度つけることが多い様です。

(2) ブレードピッチを調整する前にオール自体のブレードピッチを計測しましょう。これは、オールのスリーブ（クラッチに当たる平らな面）とブレード面との成す角度のことです。オールの注文時に任意に設定出来ますが、一般的には1度〜2度程度が良いと思います。（発注時にブレードピッチを注文しない場合には0度となります。）ビッグブレードの場合は、形状が上下非対称なので計測に以下の配慮が必要です。即ち、オールのブレードピッチを計測する時にブレードを水平な角材の上にセットする訳ですが、この時にブレード先端の下端のエッジから1インチだけ内側のところを角材の上に載せてスリーブの角度を計測する必要があります。（因みにマコンブレードの場合は、上下が対称ですので、ブレードの何処にセットしてもかまいません。）尚、オールのピッチは±1度程度の製造誤差があり、また使用している内に少しずつオールが捻じれたりしますので、少なくともシーズン前に1度はチェックする必要があります。（出来れば月に1度はチェックしましょう。）最後にブレードピッチを所定の角度（5度程度）に合わせるた

よう。

以上

めにクラッチのピッチを調整します。コンセプト製のクラッチの場合は、ブッシュ(クラッチの上下にセットするもので、ピッチ角を示した数値が刻印されている)を換えることにより、1度、7度の範囲でピッチが任意に調整出来ます。例えば、オール自体のピッチが-1度の時にブレードピッチを5度に設定する場合は、クラッチに6度のブッシュを取り付けます。(1度+6度=5度)

(4) 以上の手順でブレードピッチがセット出来ませんが、クルーの中で統一する必要があります。ブレードピッチは5度、6度が適当と思います。

6. リギングに関する一般的な注意事項

リギングは、腹切りやミスオール等の衝撃で容易に変わってしまいます。また、国産艇の場合は剛性に問題があり、2、3週間程度漕ぐと数値が変化してしまうことがあります。従って、定期的にリギングをチェックする必要があります。また、漕いでいて急にミスオールが多くなった時などは、リギングがおかしくなっている場合が多いので、漕ぎで修正する前にリギングの異常を疑うべきです。尚、添付の標準リギング表は飽くまで一つの指標ですので、クルーの体格や、漕ぎ方によって標準値から変更しても全く問題ありません。但し、新人クルー等、漕ぎ方のイメージが固まっていない段階では、この標準値を使用する事を推奨します。また、リギング記録フォームはクラブでコピーを常備して、リギング計測時に必ず記録しておいて下さい。記録したリギングフォームは、クルーで保管するだけでなく、クラブで共通のリギングファイルに保管しておけば、後々データとして参照出来ますので大切なクラブの財産になるでし

東大漕艇部 標準リギング表 (改定版)

ヘッドコーナ 氏家

*

	対校 8 +	4 +	4 -	2 +	2 -	Jr 8 +	Jr 4 +	1 X	2 X	4 X	新人 4X+	女子 4 +	女子 2 -	女子 2 X
オール全長	373 cm	373 cm	373 cm	371 cm	371 cm	371 cm	371 cm	289 cm	289 cm	289 cm	296.5 cm	368 cm	368 cm	287 cm
フルード	Big2552	Big2552	Big2552	Big2552	Big2552	Big2552	Big2552	Big21	Big21	Big21	セミコン型	Big2552	Big2552	Big21
インボード	113.5 cm	115.5 cm	114.5 cm	117.0 cm	116.0 cm	113.0 cm	115.0 cm	88.5 cm	88.0 cm	87.0 cm	87.0 cm	115.0 cm	116.0 cm	87.5 cm
艇子比	2.286	2.229	2.258	2.171	2.198	2.283	2.226	2.266	2.284	2.322	2.408	2.200	2.172	2.280
リガースプレッド / スパン	83.5 cm	86.0 cm	85.0 cm	88.0 cm	87.0 cm	83.0 cm	85.5 cm	160.0 cm	159.0 cm	157.0 cm	158.0 cm	87.0 cm	88.0 cm	159.0 cm
はみ出し	30.0 cm	29.5 cm	29.5 cm	29.0 cm	29.0 cm	30.0 cm	29.5 cm	17.0 cm	17.0 cm	17.0 cm	16.0 cm	28.0 cm	28.0 cm	16.0 cm
クラッチ高さ	体格及び艇の浮き具合によって異なるが、一般的に 16.5~17.5cm程度。													
スカル: STARBOARD - PORT クラッチ高さの差 (mm), STARBOARD (左手) のクラッチを高くする。	5 ~ 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10													
スレール後端位置 (バリアン)	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	-	62 cm	62 cm	62 cm
同上 (通常シート)	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	63 cm	60 cm	60 cm	60 cm
フィニッシュレング	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	65 cm	62 cm	62 cm	62 cm
フィニッシュ角度	37.9 °	37.1 °	37.4 °	36.5 °	36.8 °	38.1 °	37.2 °	39.1 °	39.3 °	39.6 °	39.4 °	35.5 °	35.2 °	37.9 °
フィニッシュはみ出し	6.1 cm	6.1 cm	6.0 cm	6.1 cm	5.9 cm	6.0 cm	6.0 cm	-11.3 cm	-11.4 cm	-11.5 cm	-11.8 cm	6.7 cm	6.8 cm	-10.5 cm
スレッチャー高さ	一般的には、14~15cm, (脚が長い又は足首の堅い者は大きめとする。脚が短い又は足首の柔軟な者は小さめとする。)													
スレッチャー角度	一般的には、42 °程度, (足首の堅い者は、寝かせる。逆に足首の柔軟な者は立たせる。)													
スレッチャー位置	脚の長さ次第であり、フィニッシュ時にシートのフロア上に示すスレール後端に丁度当たる様にスレッチャー位置を調整する。													
フルード合計	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °	5 °
ピン前傾	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °	0 °
ピン外傾	1 °	1 °	1 °	1 °	1 °	1 °	1 °	0 °	0 °	0 °	0 °	1 °	1 °	0 °

<備考> 1. 今回、対校8+のインボードを改定(113→113.5), 及び女子2を新たに追加した。

2. 標準的な体格として、男子:175~180cm/70~75kg, 女子:160~165cm/55~60kg程度と考て設定している。

3. 表中の網掛けの項目はチェック用の概算値である。(参考まで)

4. ジュニアは漕力不足なので、mediumサイズのオールをハンドルを2cmカットし、smallサイズに改造することを推奨する。

5. 女子種目のオールサイズについては、体格/漕力が不足していることを考慮して、特注スモールサイズとすることを推奨する。

リギング記録 フォーム (改-1)

計測日 年 月 日

1) 艇名: 2) 艇種:

担当者

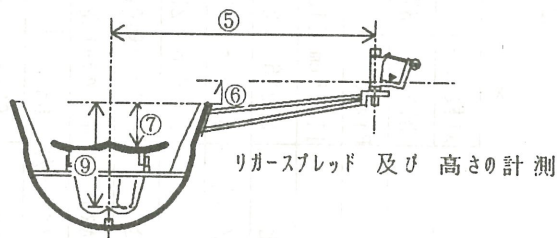
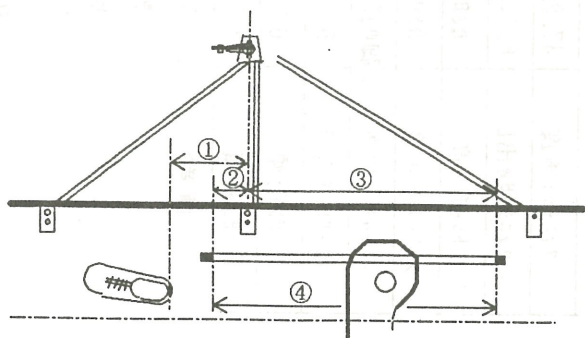
シート No.									平均値
漕手名									
漕手体重/身長	/	/	/	/	/	/	/	/	/
①ストレッチャー位置									
②レール前端位置									
③レール後端位置									
④レール長									
⑤リガースプレッド									
⑥クラッチ高 (ガンネル)									
⑦シート高 (ガンネル)									
⑧クラッチ高 (⑥+⑦)									
⑨ストレッチャー高 (ガンネル)									
⑩ストレッチャー高 (⑨-⑦)									
⑪ストレッチャー角度									
⑫ブレード/シャフト仕様									
⑬オール全長									
⑭インボード									
⑮オーバーラップ (⑭-⑤)									
⑯クラッチ本体ピッチ									
⑰オールピッチ									
⑱ピン前傾									
⑲ピン外傾									
⑳ブレードピッチ									
キャッチ (㉑)=45°									
ミドル (㉑)=0°									
フィニッシュ (㉑)=-35°									
備考欄									

1. ブレードピッチ計算要領: $㉑ = ⑯ + ⑰ + ⑮ * \cos ㉑ + ⑲ * \sin ㉑$

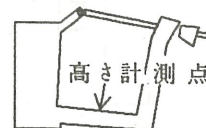
2. 計測要領

1993. 12. 18. 氏家更新

長さ方向のローイングポジション



シート高さ計測位置



〈平成7年度試合結果報告〉

第34回 九州山口医科学学生体育大会

試合日…平成7年4月23日(日)

場 所…福岡県遠賀川漕艇場

種 目…対校4+(6クルー)

オープン4+(9クルー)

オープンKF(5クルー)

クルー

・Aクルー(鴻図)

C大石 (4年)

S岡田 (5年)

3古賀(聖) (4年)

2山本 (3年)

B岡 (5年)

・Bクルー(雄図)

C福田(義) (3年)

S山崎 (4年)

3宮崎 (3年)

2及川 (2年)

B松永 (2年)

・Cクルー(崎陽)

C森 (2年)

S鶴瀬 (3年)

3牧野 (3年)

2吉野 (3年)

B高橋 (3年)

・Dクルー(無双)

C牟田口 (5年)

S土井 (2年)

3渋谷 (2年)

2蓬萊 (2年)

B尾石 (2年)

結果

〈対校4+〉 Aクルー……決勝3位

〈オープン4+〉 Bクルー……決勝3位

Cクルー……予選敗退

〈オープンKF〉 Dクルー……決勝3位

タイム

対校4+

〈予選〉

I 長崎大「鴻図」 ② 3分53秒19

II 熊本大「蒼風」 ① 3分43秒19

III 宮崎医科大「不死鳥」 3 3分58秒55

〈決勝〉

I 長崎大「鴻図」 3 4分02秒74

II 熊本大「蒼風」 1 3分54秒15

III 佐賀医科大「浮立」 2 4分00秒24

IV 産業医科大「雄飛」 4 4分04秒83

オープン4+

〈予選〉

I 長崎大「雄図」 ① 4分03秒40

II 熊本大「蒼閃」 ② 4分04秒79

III 長崎大「崎陽」 3 4分12秒64

〈決勝〉

I 熊本大「昇龍」 5 4分19秒82

II 産業医科大「ひびき」 1 4分06秒87

III	熊 本 大「韋駄天」	4	4分17秒56
IV	長崎大「雄図」	3	4分14秒65
V	宮崎医科大「天照」	2	4分11秒13
VI	熊 本 大「蒼閃」	6	4分22秒34

オーブンKF

〈決勝〉

I	福岡大「玄海」	2	4分36秒38
II	福岡大「飛燕」	4	5分03秒01
III	熊 本 大「阿修羅II」	1	4分23秒72
IV	長崎大「無双」	3	4分49秒23
V	宮崎医科大「さぼてん」	5	5分06秒85

COX記

Aクルー

4年 大石 正雄

〈予選〉 スタートで熊大に半艇身出られ、二位。300mで足げりを入れるがその差は縮まらない。500m過ぎに突然三番の古賀聖士が切れ込み艇を完全に止める。なかなかブレードが水から抜けず苦しむ聖士。その間三位の艇が迫ってくる。まずい！九山予選落ちか!?こりゃ切腹、いや坊頭ものだ。頑張れ聖士！負けるな聖士!!皆の思いが通じ艇は再スタートを切る。10秒近くのロスを取り戻すために全力で蹴り上げ辛くも二位でゴール。「すいません!!」レース直後半泣きで叫んだ聖士の顔を僕は忘れることができないだろう。

〈決勝〉

スタートやはり出遅れる。300m・500mで足げり。後半佐賀医大に出られ三位。今回の九山は今のAクルーで初の大会だったことも

あり、COXとしては全然良い働きができなかった。

Bクルー

3年 福田 義文

今日は寒く、雨も降ったがしっかり準備して、足蹴りのタイミングも決まって決勝進出。しかし午後はひどいコンディションになり着けるのに一時間以上掛かった。若干整調サイドに曲がったままスタートしたので蛇行し、出遅れて二レーンに一艇身、五レーンに半艇身出られた。250mで足蹴り五本、400mで足蹴り三本、600mの足蹴りで1/2艇身程出られていた一レーンを抜いた。しかしブイが少なく蛇行、700mで左に修正。ラストは220m・700mを越えたあたりから半艇身まで詰め寄っていた五レーンにも結局差をつけられてゴールした。今日はコンディションが悪かった聖もあるが普段と比較してもあまり水を掴めていなかった。入賞はしたものの残念なレースであった。

Cクルー

2年 森 創

「先行逃げ切り、後半駄目押し」という、スタートが弱いとされる(実際弱いのだが)長崎大学医学部漕艇部伝統の作戦で試合に臨む。結果的に昨シーズンの試合はすべて、(クルーメンバーがほとんど変わらなかったこともあるが)この作戦で挑んだ。

が、スタートでつく差は大きく、スタート、ローイングが終わるころには、一位と一艇身差、250mで足げりを入れるも、艇速変化せず500m、750mとそのつど足げりを入れるが、我が艇と他艇の差は漕手に伝える艇身に足すこと1〜1.5艇身。900mからスピード上がるも抜くべき他艇は今いずこ。敗復も同様の試合はこびとなってしまった。

さて、この試合がCOXとして初公式戦となった私だが、漕手以上に興奮してしまい、二枚上げのタイミングが遅かった、距離が確実に伝わってなかった（声がひっくり返っていた）等、不始末だらけ。

試合の厳しさ、自分の未熟さを思い知らされた。

Dクルー

5年 牟田口 滋

ナックルでの一発決勝、2年生のみの若いクルー、牟田口の初コックス、土井・渋谷コンビなど早くも波乱の予感。マークするは左隣の熊大「阿修羅Ⅱ」。スタート・ローイングで福大「玄海」と共に2位。「いける！」300・500と足げりを入れるが「玄海」が徐々に出る。後ろを見ると「さぼてん」は、3艇身離れてはいるが真後ろにいないか。まずい、5レーンだ、と思い700で足げりを入れつつ元の4レーンへ。750で2枚上げ、850手前でラストを入れるも「玄海」には追いつかずそのまま3位でゴール。メダルを手にいれ喜ぶ2年生を眺めつつ反省点ばかりのレースだった。（宮医の小村君、すいません。）

第42回 九州朝日レガッタ

試合日：平成7年5月20日（土）・21（日）

場 所：福岡県遠賀川漕艇場

種 目：一般男子4+（30クルー）

一般KF（18クルー）

一般男子シングルスカル（4クルー）

クルー

・Aクルー（鴻図）

・Bクルー（雄図）

C大石（4年）

C福田（義）（3年）

S岡田（5年）

S山崎（4年）

3古賀（聖）（4年）

3宮崎（3年）

2山本（3年）

2及川（2年）

B岡（5年）

B松永（2年）

・Cクルー（崎陽）

・Dクルー（無双）

C森（2年）

C程野（2年）

S鵜瀬（3年）

S諸藤（1年）

3牧野（3年）

3ウイ（1年）

2吉野（3年）

2蒲池（1年）

B高橋（3年）

B土井（2年）

・Eクルー (普賢)

・SSクルー

C 牟田口

(5年)

谷川

(3年)

S 蓬菜

(2年)

3 松本

(1年)

2 向井田

(1年)

1 尾石

(2年)

結果

〈一般男子4+〉 Aクルー……決勝4位

Bクルー……準決敗退

Cクルー……敗復敗退

〈一般KF〉

Dクルー……敗復敗退

Eクルー……敗復敗退

〈一般男子1×〉 谷川……決勝3位

タイム

一般男子4+

〈予選〉

I 産業医科大「瑞穂」

5 4分07秒40

II 熊本大(全)「冬麗」

① 3分28秒03

III 新菱 A

6 4分13秒78

IV 長崎大(医)「崎陽」

4 3分43秒77

V 熊本工業大「疾風」

3 3分36秒37

VI 九州工業大「満珠」

② 3分33秒13

I

長崎大(医)「雄鷹」

② 3分38秒98

II

長崎大(全)「西海」

3 3分41秒26

III

熊本学園大「珀鯉」

① 3分38秒39

IV

鹿児島大

5 3分46秒47

V

熊本工業大「夕映」

6 4分32秒26

VI

熊本大(医)「章駄天」

4 3分43秒43

I

産業医科大「雄飛」

3 3分40秒33

II

宮崎大「青龍」

② 3分39秒42

III

長崎大(医)「雄鷹」

① 3分34秒66

IV

福岡教育大「常勝」

4 3分41秒17

V

佐賀大「夕風」

6 3分47秒04

VI

熊本大(医)「蒼閃」

5 3分43秒21

〈敗復〉

I

大分大 B

5 3分54秒50

II

長崎大(医)「崎陽」

4 3分50秒12

III

産業医科大「雄飛」

1 3分36秒68

IV

鹿児島大

3 3分46秒17

V

三菱化学黒崎

2 3分43秒81

〈準決〉

I

長崎大(全)「破天荒」

3 3分40秒36

II

宮崎大「青龍」

5 3分45秒61

III	熊本大(全)「冬麗」	②	3分37秒32
IV	長崎大(医)「雄図」	6	3分46秒13
V	山口大「橙柑会」	①	3分29秒48
VI	熊本工大「疾風」	4	3分45秒00

I	福岡教育大「常勝」	6	3分44秒22
II	九州工大「満珠」	4	3分41秒16

III	長崎大(医)「鴻図」	①	3分36秒01
-----	------------	---	---------

IV	長崎大(全)「堂風」	3	3分39秒30
----	------------	---	---------

V	佐賀大「夕風」	②	3分38秒24
---	---------	---	---------

VI	三菱化学黒崎	5	3分42秒08
----	--------	---	---------

〈決勝〉

I	熊本大(医)「蒼風」	2	3分32秒62
---	------------	---	---------

II	山口大「橙柑会」	1	3分30秒52
----	----------	---	---------

III	佐賀大「夕風」	6	3分50秒66
-----	---------	---	---------

IV	熊本学園大「飛翔」	5	3分45秒87
----	-----------	---	---------

V	長崎大(医)「鴻図」	4	3分39秒80
---	------------	---	---------

VI	熊本大(全)「冬麗」	3	3分39秒52
----	------------	---	---------

〈予選〉

I	博多ローイングクラブ	3	2分03秒47
---	------------	---	---------

II	三菱マテリアル	2	1分57秒15
----	---------	---	---------

III	新日鉄八幡	1	1分55秒84
-----	-------	---	---------

IV	鹿児島純心女子大	5	2分12秒71
V	佐賀大「わかくす」	4	2分04秒46

VI	長崎大(医)「普賢」	6	2分24秒01
----	------------	---	---------

I	安川電機	1	1分55秒88
---	------	---	---------

II	福岡大漕艇愛好会	3	1分59秒90
----	----------	---	---------

III	唐津市役所&唐津ローイング	2	1分57秒65
-----	---------------	---	---------

IV	長崎大(医)「無双」	6	2分35秒10
----	------------	---	---------

V	熊本大(医)「プロテウス」	5	2分16秒85
---	---------------	---	---------

VI	大分大A	4	2分00秒79
----	------	---	---------

〈敗復〉

I	熊本大(医)「プロテウス」	4	2分24秒87
---	---------------	---	---------

II	博多ローイングクラブ	1	2分05秒65
----	------------	---	---------

III	九州共立大	2	2分13秒18
-----	-------	---	---------

IV	長崎大(医)「普賢」	3	2分21秒18
----	------------	---	---------

I	熊本大(全)「八雲」	3	2分13秒34
---	------------	---	---------

II	福岡大漕艇愛好会	1	2分02秒21
----	----------	---	---------

III	佐賀大「わかくす」	2	2分08秒72
-----	-----------	---	---------

IV	長崎大(医)「無双」	4	2分22秒34
----	------------	---	---------

一般男子SS

〈決勝〉

I	松本 (熊本大・医)	4	4分48秒76
II	大西 (三菱化学黒崎)	1	4分06秒73
III	山本 (園漕会)	2	4分22秒00
IV	谷川 (長崎大・医)	3	4分25秒35

COX記

Aクルー

4年 大石 正雄

〈予選〉 スタートはまずまず。しかしローイングが良くない。そのままダブルローイング、250m・500mで足げり。少しづつ良いリズムになってきて一位。700m・900mで二枚上げを入れてそのままトップゴール。

〈準決勝〉 再び夕凧とあたる。スタート・ローイングはまあまあ。250m・500mで足げりを入れるが中盤までダンゴ状態。後半徐々に抜け出て750mで二枚あげ、少し様子を見ながらトップゴール。

〈決勝〉 みたび夕凧とあたる。スタートはあまり良くない。ダブルローイング・足げりを入れるが山大と熊大にはすでに出られている。再び足げりを入れて4位。700m・900mで二枚上げ。そのまま4位でゴール。またもや熊大に負けたが、前回より差は縮まっており、次回に希望が持てる。

Bクルー

3年 福田 義文

〈予選〉 スタートに失敗、最下位のスタート。フォワード合わずにバタバタだったが、250mで七本の足蹴りを入れ隣の西海に詰め寄る。する

と徐々にボディが合い出し、370mで足蹴り五本、更に追いつき、500mでとどめの足蹴りを10本、抜き去って二位。750mで西海が寄ってくるがすかさず780mからラストの二枚上げを入れる。900m以降どんどん伸びて珀鯉に迫る。結局抜けなかったものの、足蹴りもラストもタイミングが決まって理想的な逃げ切り方であった。

〈準決〉 スタートから出られたままで、三回足蹴りを入れたもののいまひとつ伸びず、700mまでバタバタであった。ラスト230mで少し上がるが長続きしない。結局二レーンとは僅差のまま最後まで抜けずじまい。出られるとそのまま悪い状態がつづくという昨日のレースとは逆のパターンにはまり、精神的なもろさを露呈した。今後は基礎体力づくりとスタート練習に重点を置きたい。

Cクルー

2年 森 創

作戦はいつもどおり。なぜか分からないが、我がクルーは天候に恵まれない。今回は土砂降りの中レースがスタートする。試合展開は、全く九山と同様。今回は前半で半艇身で食いつけたが、足げりではたつき、力も尽きる、といった展開に。今回は確実に2枚あげを行うも、まさに「かきまぜる」と言った状態で艇速の伸びがなかった。

前回の反省から、漕手それぞれの弱点をノートに記録しながら練習していたが、弱点が紙面から消える間もなく試合となってしまうのは、残念でならない。

Eクルー

5年 牟田口 滋

1年生の松本・向井田には初レース。蓬萊・尾石にも先輩としての

風格が備わってきたように見える。予選、新日鉄や三菱など社会人相手に緊張気味のスタート。500mレースなのでハイペースで飛ばすも男女混合チームにも押される。結局12秒差の6位。しかし悪コンディションの中でのまずまずの漕ぎに一年生は敗復でも気合い十分。敗復、2レーンの博多ローイングクラブが先行するが、3レーンの九州共立大は予想よりもスタートが良くなく、しかも1レーンの熊大プロテウスにはスタートで先行し、そのまま400まで出ている。そのままラストへ。一年生はプロテウスを見ながらも動揺することなく結局3位でゴール。練習すれば必ず勝つ、とはいかないところがボートの厳しさだが、慣れない朝練習をしてきた一年生にとって喜びもひとしおであるようだ。蓬菜達若い(?)クルーの頑張りで、私自身初心を思い出させてくれるレースだった。

SS

3年 谷川 治

半年以上の引退生活でなまった体をひっさげて、1×デビュー戦。沈せず無事ゴール。

平成7年度 県漕

試合日：平成7年6月4日(日)

場所：琴海町形上漕艇場

種目：成年男子4+(11クルー)

成年男子1×(4クルー)

クルー

・Aクルー(鴻図)

C 大石 (4年)

S 岡田 (5年)

3 古賀(聖) (4年)

2 山本 (3年)

B 岡 (5年)

・Bクルー(雄図)

C 福田(義) (3年)

S 山崎 (4年)

3 宮崎 (3年)

2 及川 (2年)

B 松永 (2年)

・Cクルー(崎陽)

C 森 (2年)

S 鷗瀬 (3年)

3 牧野 (3年)

2 吉野 (3年)

B 高橋 (3年)

・Dクルー(無双)

C 程野 (2年)

S 蓬菜 (1年)

3 松本 (1年)

2 諸藤 (1年)

B ウィ (1年)

・Eクルー(普賢)

C 牟田口 (5年)

S 向井田 (1年)

3 杉浦 (6年)

2 蒲池 (1年)

B 古賀 (6年)

・SSクルー

谷川 (3年)

結果

〈成年男子4+〉Aクルー……優勝

Bクルー……予選敗退

Cクルー……予選敗退

Dクルー……予選敗退

Eクルー……予選敗退

〈成年男子1×〉谷川……決勝3位

タイム

成年男子4+

〈予選〉

A ①長崎大(全)「破天荒」

②園漕会&玖城会

③長崎大(医)「崎陽」

B ①長崎大(全)「西海」

②長崎大(医)「鴻図」

3 佐高専「KUNIAKI」

3分52秒69

3分53秒08

4分09秒77

3分55秒02

3分56秒11

3分58秒89

C ①長崎大(全)「堂風」

②佐高専「YANVE」

③長崎大(医)「雄図」

④長崎大(医)「普賢」

④長崎大(医)「無双」

4分38秒50

3分56秒88

3分57秒50

3分59秒01

4分45秒23

〈準決〉

A ①長崎大(医)「鴻図」

②長崎大(全)「破天荒」

3 長崎大(全)「堂風」

4分02秒75

4分08秒60

4分09秒81

〈決勝〉

①長崎大(医)「鴻図」

2 長崎大(全)「破天荒」

3 佐高専「YANVE」

4 園漕会&玖城会

3分54秒00

4分01秒28

4分07秒28

4分08秒00

〔鴻図〕は国体九州ブロック大会に出場決定

成年男子1×

〈決勝〉

1 井村貴司(玖城会)

2 大田昌一(長大全)

③谷川 治(長大医)

4分44秒22

4分45秒95

4分55秒57

COX記

Aクルー

4年 大石 正雄

〈予選〉 スタート、ローイングはまあまあ。250mで足げりを入れ、トップに出る。あとは様子を見ながらコンスタントのままゴール。中盤からあまり良い漕ぎではなかった。

〈準決〉 スタートはあまり良くない。ローイング、足げりで徐々にトップに出る。300〜400m頃突然破天荒がストップ。そのままかなり余裕をもってゴール。しかし漕ぎは相変わらず良くない。

〈決勝〉 クルーを崩さずに国体に出場するためにはこのレースで大差をつける必要があり、全力で臨む。スタート、ダブルローイングが今までにないぐらい決まりすぐに抜け出しトップに。250mと500mで足げりを入れ、これがまた気持ち良く決まる。ラスト300mで二枚上げ、100mでさらに二枚上げそのままゴール。今までの不調を吹き飛ばす様な快心の漕ぎだった。

Bクルー

2年 森 創

試合の天候は曇。ただし前日艇を形上湾に回漕中激しい風雨に見舞われ、相変わらず天候に恵まれないクルーである。

スタート地点のウォーターマンが何度か我が艇をつかみ損なって、少々ナーバスになる。ゴール後方に見える目標板のみしかいない状態で、距離はほとんど目測で行う。スタート〜250m地点までは漕手にも相手が確認できる状態であったが、300m付近よりスタミナの差なのか、伸び

がなくなり、結局3位(3杯レース)に。

また、形上のコースは600m地点からバウサイド側に曲がっているのだが、COXのミスで直進させてしまい、ロスを出してしまった。(新COXの人は同じ過ちを繰り返さないように。)

Eクルー

5年 牟田口 滋

杉浦さん、古賀さんを迎えての一戦。向井田、蒲池も加わって往路もやたらハイである。予選、「雄図」との対決を望んだが「雄図」は全学「堂風」、佐高専 とともに視界から消失。向井田2回、蒲池1回の切れこみもあり、5分近くの苦戦を強いられた。250・500の足げりも効果なく、1分差のままゴールへ。結果は散々であったが、急造クルーの中で一年生が先輩から学んだ事を今後につなげてくれることを望みたい。

1X

3年 谷川 治

全学太田が目標。負け。自分のレース展開の傾向について初めて気付く。

平成7年度国体九州ブロック大会

試合日：平成7年7月22日（土）・23（日）

場所：鹿児島県大隅潮漕艇場

クルー

C 田中	(H 3 卒)
S 岡田	(5 年)
3 古賀 (聖)	(4 年)
2 山本	(3 年)
B 岡	(5 年)

成年男子 4 +

〈予選〉

①長崎RC & 長崎大 (医)

2 三菱化学黒崎	3 分 27 秒 51
3 沖縄選抜	3 分 46 秒 28
4 ひた市漕艇部	3 分 54 秒 60

〈決勝〉

1 碧漕会	3 分 21 秒 15
2 三菱化学黒崎	3 分 24 秒 95
3 銀座橋ローイング & 熊本大 (医)	3 分 27 秒 22

④長崎RC & 長崎大 (医)

3 分 32 秒 15

(長崎RC & 長崎大 (医) は国体出場決定)

第47回西日本医科学学生総合体育大会

試合日：平成7年8月10日（木）・11日（金）・12日（土）

場所：香川県府中湖

種目：4 + (33クルー)

男子KF (27クルー)

男子1 × (18クルー)

クルー

・Aクルー (鴻図)

C 大石	(4 年)
S 岡田	(5 年)
3 岡	(5 年)
2 山本	(4 年)
B 古賀 (聖)	(4 年)

・Bクルー (雄図)

C 福田 (義)	(3 年)
S 山崎	(4 年)
3 松永	(2 年)
2 及川	(2 年)
B 宮崎	(3 年)

・Cクルー (崎陽)

C 森	(2 年)
S 鶴瀬	(3 年)
3 土井	(2 年)
2 吉野	(3 年)
B 高橋	(3 年)

・Dクルー (無双)

C 程野	(2 年)
S 蓬萊	(2 年)
3 武野	(6 年)
2 諸藤	(1 年)
B 松本	(1 年)

・Eクルー (普賢)

・SSクルー

C 渋谷 (2年)

谷川 (3年)

S 牟田口 (5年)

牧野 (3年)

3 谷川 (3年)

2 蒲池 (1年)

B 尾石 (2年)

結果

〈4+〉 Aクルー……決勝3位

Bクルー……準々決勝敗退

〈男子KF〉 Cクルー……準決勝敗退

Dクルー……一次敗復敗退

Eクルー……二次予選敗退

〈男子1×〉 谷川……決勝4位

牧野……二次予選敗退

タイム

4+

〈一次予選〉

I 長崎大「鴻図」 2 3分33秒28

II 滋賀医大「湖神」 3 3分44秒65

III 熊本大「蒼風」 1 3分31秒28

I 長崎大「雄図」 1 3分37秒14

II 京都大「C」 3 3分38秒97

〈二次予選〉

I 浜松医大「湍」 3 3分47秒17

II 長崎大「鴻図」 2 3分34秒99

III 岡山山大「迅雷」 1 3分30秒72

I 和歌山医大「風神」 3 3分33秒16

II 長崎大「雄図」 2 3分32秒10

III 鳥取大「PEGASUS」 1 3分28秒50

〈準々決勝〉

I 長崎大「鴻図」 2 3分22秒70

II 岡山山大「天啓」 3 3分27秒20

III 長崎大「雄図」 4 3分38秒96

IV 滋賀医大「泰斗」 1 3分21秒69

〈準決勝〉

I 熊本大「蒼風」 1 3分20秒07

II 長崎大「鴻図」 2 3分22秒10

III 鳥取大「PEGASUS」 3 3分25秒70

IV 大阪大「SCORPIO」 4 3分55秒42

III 岡山山大「天馬II」 2 3分38秒11

IV 浜松医大「洗洋」 4 3分44秒33

〈決勝〉

I	長崎大「鴻図」	3	3分16秒35
II	滋賀医大「泰斗」	1	3分11秒70
III	京都 A	4	3分26秒21
IV	熊本大「蒼風」	2	3分13秒13

男子KF

〈二次予選〉

I	長崎大「無双」	4	4分27秒45
II	和歌山医大「熊楠」	3	4分16秒23
III	宮崎医大「日向」	2	4分14秒60
IV	熊本大「神俵」	1	4分14秒41

I	滋賀医大「朝霧」	3	4分19秒45
II	長崎大「崎陽」	1	4分13秒06
III	岡山大「疾風」	2	4分15秒20
IV	金沢大「B」	4	5分08秒48

I	滋賀医大「B」	3	
II	京都大	1	
III	佐賀医大「飛龍」	4	計測ミス
IV	長崎大「普賢」	2	

〈一次敗復〉

I	熊本大「阿修羅」	1	4分13秒53
II	滋賀医大「朝霧」	3	4分18秒50
III	長崎大「無双」	2	4分17秒08

〈二次予選〉

I	熊本大「阿修羅」	4	4分28秒95
II	熊本大「神俵」	1	4分14秒29
III	滋賀医大「S」	2	4分20秒38
IV	長崎大「普賢」	3	4分25秒53

I	和歌山医大「熊楠」	2	4分12秒02
II	長崎大「崎陽」	1	4分10秒41
III	熊本大「プロテウス」	3	4分15秒02
IV	香川医大「ナックルボンバー」	4	4分29秒89

〈準決勝〉

I	熊本大「神俵」	1	4分05秒21
II	大阪大「カノプス」	2	4分06秒53
III	長崎大「崎陽」	2	4分07秒60
IV	岡山大「疾風」	4	4分10秒09

男子1×

〈二次予選〉

〈二次敗復〉

I	滋賀医大(菅原)	1	4分11秒99
II	浜松医大(若林)	4	5分00秒06
III	長崎大(谷川)	3	4分15秒55
IV	佐賀医大(大峰)	2	4分14秒83
I	滋賀医大(瀧本)	1	4分02秒67
II	長崎大(牧野)	3	4分15秒85
III	広島大(柴田)	2	4分05秒71
I	浜松医大(若林)	2	4分23秒90
II	長崎大(谷川)	1	4分19秒62
III	鳥取大(光田)	3	4分47秒54
IV	宮崎医大(木原)	4	5分53秒80
I	滋賀医大(青松)	4	5分34秒71
II	長崎大(牧野)	1	4分14秒74
III	滋賀医大(塩山)	2	4分23秒22
IV	宮崎医大(新富)	3	4分39秒55
I	長崎大(牧野)	3	4分11秒95
II	岡山大(丸山)	1	4分02秒46
III	熊本大(松本)	2	4分05秒02

〈二次予選〉

〈準決勝〉

I	岡山大(戎谷)	1	4分00秒71
II	広島大(柴田)	3	4分02秒03
III	長崎大(谷川)	2	4分01秒08
I	熊本大(松本)	3	3分59秒24
II	岡山大(戎谷)	2	3分58秒57
III	長崎大(谷川)	1	3分57秒07
IV	佐賀医大(大峰)	4	4分08秒00

〈決勝〉

I	長崎大(谷川)	4	3分57秒26
II	京都市大(結城)	2	3分52秒46
III	岡山大(戎谷)	3	3分55秒52
IV	滋賀医大(瀧本)	1	3分46秒71

COX記

Aクルー

4年 大石 正雄

〈二次予選〉

なかなか厳しい組合せで緊張して臨む。強風でスタート位置につけるのにまず苦労する。ようやくスタートするが、その後岡がシートから落ち三位。熊大蒼風とはやくも一艇身差。ダブルローイングもなかなか伸びない。250m・400mで足げり10本づつ。滋賀医大湖神を抜いて2位。蒼風とはまだ一艇身以上ある。650mで2枚上げ。少し艇速がのってきた。ラスト150mでさらに二枚上げ、蒼風に半艇身まで

近づき2位でゴール。風が強く終始ブレードがバタついていた。

〈二次予選〉 一次予選で注意すべきポイントが多く見つかり、このレースは練習のつもりで取りかかる。スタートで左右両レーンにフライングされ出られるが、ローイングで追いつき足げりで浜松医大を引き離し岡大と競り合う。そのままSR32ぐらいで最後までコンスタントで進む。少し出られて2位でゴール。まだまだ課題が残る。

〈準々決勝〉 岡大天啓と滋賀医大泰斗という優勝候補の2クルーが入っており非常に厳しい組合せ。下手すりゃここで終わりといいこととただならぬ緊張感、いや悲壮感すら漂っている。レース前のミーティングでフルパワーで臨むことに決める。遂にスタート。フライングがきまって、いつもは出られるはずのところが横一直線に並ぶ。ダブルローイング・足げりで徐々に天啓を引き離し、泰斗に続いて2位。650m・800mで二枚上げ、ラスト50mで泰斗に迫るがそのままゴール。緊張がプラスに作用したのがとても良い漕ぎが出来た。

〈準決勝〉 またまた厳しい組合せ。風が強く、どの艇も方向を定めるのに苦労している。ようやくそろっていいよスタート。号令の直前4レーン阪大が「スタートやり直し」と艇が少し流されたことを告げていたがそのままスタート。3レーン鳥大はやり直しになるものと思いい漕ぎ止める。しかし審判に伝わらなかったのかレースは中断されずに続行。このためウチと蒼風との争いになり、終始半艇身一艇身差で進む。鳥大も途中食らいついて来たが650mでウチが二枚上げを入れたとスルスルと落ちていった。結局2位でゴール。鳥大にはかわいそうだったが少しだけ楽ができてラッキーだった。

〈決勝〉 泣いても笑ってもこれが最後のレース。今大会三度目の1レー

ン。引き慣れたところでよかった。スタートはフライングが決まって泰斗と並びトップ。ダブルローイング、コンスタントで少しづつ離され一艇身差。蒼風と二位争いをするが一回目の足げりが終わったところで三位。泰斗とは一艇身半。ここでは非追いつきたい。全力の足げりを5本入れ、少しつめたがコンスタントでまた離された。600m・800mで二枚上げラスト100mでまた少しだけ泰斗・蒼風に近づいたがそこでゴール。三位だった。優勝した泰斗とは少なからぬ差があったが、力の限りを尽くしたため悔いはない。みんなお疲れさんでした。

Bクルー

3年 福田 義文

〈一次予選〉 スタートで整調サイドに蛇行、トップの2レーン京大Cにキャンバス差をつけられたまま200mを通過。足蹴りをそこで7本、さらに350mで足蹴り5本、500mでまた5本、650mでさらに5本、700mから二枚上げ。2レーンとはずっとキャンバス差だったが500mで並ぶことができ、ラストでは頭一つ出て我々はトップの3レーン岡大天馬Ⅱにせまり、ラスト100mで追越して逃げた。トップゴール。

〈二次予選〉 一回目はフライングを試してみるが、やはり今年はCOX会議での説明どおり厳しくなっているようで再スタートを命じられた。しかし実はこのときスタート直後に大きくBOWサイドへ曲がって横バイに激突していたのだ。結果的にはスタートやり直しがプラスに作用して幸運であった。

再スタート後は鳥大にキャンバス差つけられたまま150mで5本、300mで7本の足蹴り。500mで伸びはじめたのですかさず足蹴りを10本。ところが足蹴り後逆に艇速が落ちてしまい鳥大とは1艇身ついてしまう。740

mからラストを入れるが思うようにピッチが上がらない。850mで後方から和医大がせまってきた。我慢のしどころであったが踏んばってキャンバス差のまま逃げ切ることができた。

《準々決勝》 組み合わせを見てびっくり。優勝候補の潰し合い。すごいレースになりそうである。決勝に進出した気分ですべてをかけるつもりで試合に望んだ。

スタートは見事にフライングが決まり、ダブルローイングも落ちずに、コンスタントに入りピッチ36、滋賀医が頭一つ出ていたが岡大と雄図が並び一艇身差のまま喰いついてゆく、ミドル300〜600mも伸び、蹴りもあった。ところがラストでまず二枚上げよう、とした所で我々がレーン侵害していることに気付いた。目の前が真っ暗になる感じがした。とりあえず戻すことに必死になり、結局二枚上げのタイミングは遅れ、もう二枚上げるつもりだったが結局上げずじまいでゴール。

結果は四位で変わらなかったとしても、漕手も不完全燃焼のまま余力を残してゴールしてしまい不満が残った。COXにはレーン侵害の経験がなく、油断がなかったとはいえないし、一歩間違えればAクルーの決勝進出を阻んだかもしれない。これまでのレースでは最も良い試合運びだったし、体もよく動きスタートも決まったし、私自身もレーン侵害するまではこれまでで最も冷静さを保って、試合そのものを楽しんでいたために、レーン侵害とその後の私の心の乱れが試合を潰してしまったことが悔やまれてならない。この一年間漕手もよく頑張ってくれて、有終の美を飾りたかっただけに、悔いの残る夏の終わりとなった。

しかしシーズンを振り返ってみれば、今シーズンはこれまでの四年

間の中でも最も充実感が得られたように思える。頼りないCOXに黙々とついてきてくれた山崎、宮崎、及川、そして腰を骨折しながらも共にこの西医体の晴れ舞台を踏んだ3番松永、4名の漕手たちに感謝したい。

Cクルー

2年 森 創

県漕からここまでの道程は長かった。氏家コーチの指導の元、オーラのブレードをビッグブレードに交換。東京大学ボート部のリギングデータを元にした通称「スーパージギング」への変更。合宿の新メニューの採用など、今はやりの「パラダイムの転換」と言う言葉がふさわしい時期だった。

さて、試合であるが、一次予選結果は二着の岡山大学「疾風」に2秒差(約3分の2艇身ほど)つけての一着。今期初の予選通過であった。

内容であるが、スタートで「イこぎ」を行う。が予想通りフライングをとられる。再スタート後「疾風」とキャンバス差、「朝霧」とは2分の1艇身差。「金沢B」は1艇身以上離れ、早くも戦線離脱。300mで足げり5本入、500mで10本、750mから2枚あげを行う。「朝霧」は500mからペースダウン。「疾風」との一騎打ちとなった。

2次予選は1次予選のタイムを3秒程縮め、2着和歌山大学「熊楠」と2秒差で通過。ただし、COXのコース取りミスで800mから3レーンに侵入。熊本大学「プロテウス」から「ものいい」がついてしまう。が、ほどなくとりさげてくださり、事なきを得る。(事の一部始終は'95年度西医体のビデオを参照されたし。)

いよいよ準決。再び「疾風」と並べることに。が、問題は1レーン熊本大学「神俵」、2レーン大阪大学「カノープス」であった。

スタート直後から500mまでは「崎陽」がキャンバス差で「神俵」に先行する。「カノープス」と半艇身。このまま逃げ切るつもりであった。が両艇とも「崎陽」をペースメーカーにしていたらしく、600mで「神俵」に抜かれ、「カノープス」にキャンバス差においつかれる。50m早く700mで2枚あげ開始。いったん「カノープス」を離すが、ラスト50mでぬかれ3着となり、その瞬間シーズンが終わった。来シーズンは、偽の指示用語をつくらうかな、と思った。

Dクルー

2年 程野 茂 樹

〈二次予選〉 スタート地点についてみると、進行方向に対して真横に速い流れがあり、そのためステッキボートがレーンの端ギリギリ、レーン間のブイの前にある。そのため斜め方向にスタートするつもりで漕手にちよいローを命じていたが、「スタート用意！」の声がかかった時には、流されて正面を向いてしまった。素早く手を上げたが、そのまま押し切られてしまい、スタートと同時にBOWがブイをたたき、その上オールも手から離れてしまった。態勢が整ったころには他3艇ははるか彼方。結局その差はいかんともしがたくそのまま最下位でゴール。まともにレースすらできなかったことに對し、COXの責任を痛感した。

〈二次敗復〉 今日はステッキボートはレーンの中央にある。しかし相変わらず流れは速い。昨日の反省をふまえて今日はスタート前に船首を斜めにふりスタートに備えているとなると、クイックスタート。船

首が流れにもどされるまもなくスタートがかかり、そのまま斜めにスタート。船首がブイにぶつかりあわててラダーを切ったが、レーン中央にもどった時には他2艇に約1.5艇身差をつけられていた。しかしここからの漕ぎはすごかった。とても急造クルーとは思えないほどのすばらしさでどんどん差をつめ、700mで滋賀医をとらえそのままスパート、正直、熊大にも届くと思ったが結局1艇身及ばなかった。タイムを見ても敗復の他の組と比べて飛びぬけてレベルの高い試合だったにもかかわらず、こういう競るレースができたことで、このクルーの潜在能力の高さが実感できた。それ故2試合続けてCOXの基本的かつ致命的ミスによってレースを台無しにしてしまい、勝てるレースを落としてしまったことに對し、クルーに對してこれからお詫びを言いたい。少なくとも敗復においては、クルーはローアウトするまで全力を尽くしてくれた。負けたのは全て私の責任でした。COXの難しさとその責任の重大性を痛いほど実感し、とにかく反省ばかりの大会でした。それから故障してしまった1年生の変わりに合宿中、交代で練習に参加してくれた福田さん始め6年の先輩方、ぶっつけ本番で試合にしてくれた武野さん、ありがとうございました。

1x

3年 谷川 治

〈二次予選〉 WエントリーのEクルーレース後15分休憩で出艇。体力以上に集中力を欠くまま、自滅。敗復行き。

〈敗復〉 蛇行とミスローイングさえ気をつければムキになる相手でもなく、流す。1位。

〈二次予選〉 Eクルーとの時間的な兼ね合いから棄権を覚悟したが、最終組と決まる。一次と同じく15分休憩で再出艇という強行軍の中、りきむ力も無かったのが幸いしたのか奇跡的に2位。

〈準決勝〉 対戦相手が皆一度並べた相手であれば、レース展開は見当がつく。幸い予想、作戦ともほぼ的中し、精神的消耗もなくゴール。1位。

〈決勝〉 スタート直後コースアウト。失格は免れたもののレーン内復帰に100mを要し、そのまま勝負どころなくゴール。4位。1×で初めてローアウトを体験できた点は収穫。

1×

3年 牧野 淳

今回の西医体は、僕にとってシングルスカルのデビュー戦となった。

試合でのかけひきは全く分からなかったので、マイペースで漕ぐことを目指し、基本的にスタート10本、ローイング10本、途中500mで足どり10本、ラスト300mでスパートという作戦で臨んだ。

結果は一次予選を敗復で上がったものの、二次予選で敗退。ただ、二次予選は敗れたものとても印象に残った。

試合は三艇レースであったが、予選タイムの結果から、事実上は熊大の松本君との一騎打ちであった。それでもタイムで自分の方が劣っていたので、スタートで何とかリードしようと考えていた。しかしスタート三本目でオールをブイにぶつけ、逆に一艇身リードされてしまった。これはまずいと思い、少しピッチをあげて追い上げたが差はなかなか縮まらず、700mまでに二艇身と逆に離されてしまった。このまま

ではこちらの負けが明らかだったので、時期は早かったがそこでスパートを入れた。足切りは驚くほどきれいに入り艇がのびているのを実感、差も900mまでに一艇身まで縮まった。そしていける、と確信したまさにその瞬間だった。左のオールが宙に飛んだ!!再びオールをブイにぶつけ、今度はオールから手を完全に離してしまったのである。艇はそこでみるみる失速し、同時に今まで張りつめていた緊張の糸もすっかり切れてしまった。後は惰性のうちにゴールをしたが、とても悔いの残る試合であった。

今シーズンをふり返ると、経験不足に加え実力不足から今回の結果になったのは当然であった。しかし結果以外で得たものは多く、来シーズンに向けての良いステップになった。

平成7年度国民体育大会

試合日：平成7年9月9日（土）～12日（火）

場所：福島県茨野漕艇場

クルー

C 田中	(H 3 卒)
S 岡田	(5 年)
3 岡	(5 年)
2 山本	(3 年)
B 古賀 (聖)	(4 年)
補 大石	(4 年)

予選

I 長崎・長崎 R & 長大医	5	3 分 23 秒 60
II 石川・小松 R C	3	3 分 18 秒 02
III 島根・中国電力・松江 R C・江津 R C	4	3 分 18 秒 81
IV 東京・N T T 東京	1	3 分 05 秒 95
V 岐阜・中部電力岐阜	2	3 分 11 秒 41

敗復

I 鹿児島・碧漕会	2	3 分 15 秒 20
II 石川・小松 R C	3	3 分 15 秒 48
III 大阪・大阪選抜	1	3 分 12 秒 67

IV 島根・中国電力・松江 R C・江津 R C	4	3 分 17 秒 60
V 長崎・長崎 R C & 長大医	5	3 分 25 秒 76

COX 記

第1薬理

田 中 邦 彦

国体出場のコックス記を、との事であったが、現役時代ならばコックスノートをそのまま写せばすむものも、今回はそうもいかない。そもそも国体出場といっても、試合のことはほとんど頭に残っておらず、むしろ国体ブロック予選の、台風に遭遇して落雷の恐怖に怯えたことや、自動車で衝突事故をおこし、みんなに多大な迷惑をかけたことなど、試合以外のことばかり印象に残っている。そんな訳で、コックス記というよりもOBのたわごとを書き連ねることで、どうかご容赦願いたい。

昔、僕が現役だった頃は、県漕で優勝しても国体出場は辞退していた。これはひとつは国体と試験の日程が重なっていたこと、そしてもうひとつは、あの頃はあくまで西医体が最大の目標であったことによると考えられる。ではなぜ国体に出るようになったのか。今回国体に出てみてわかったが、国体出場が決まると、そのクルーに旅費、宿泊費を含めて十分なお金ができる。開催地の人達の歓迎も、選手にとっては楽しいかぎりである。親やOB会の世話になっている学生の身分としては、非常においしい話であると思う。また医学生の世界ならいざしらず、一般社会にとっては西医体なんて聞いたこともない大会なのである。だが国体は違う。医者になってお嫁さんをもらい、披露宴の席で仲人の教授なんかが、新郎は学生時代にボートで国体に出場し、な

どと言え、100人中97人位は感心するのである。非常に皮肉っぽい言い方に聞こえるかもしれないが、別に僕はそういう価値観を否定するつもりはさらさらない。また、国体での上位進出をねらって頑張ったクルーも少なからずあったことも、もちろん知っている。ただ個人的に言わせてもらえば、氏家コーチのおっしゃるように、国体の本来の目的である地域でのスポーツ普及と振興という意味では、国体はその存在理由をすでになくしていると思うし、開催県がなにがなんでも勝つために行く（なぜそうまでして勝たなければならないのか、僕にはどうしてもわからない）様々な手段についても、スポーツ精神からは大きく逸脱していると言わざるをえない。ボートに限っていえば、これだけの大きな大会で、未だに1000mレースだけなのも納得がいかない。でるでないは別として、現役部員のみんなにはもう一度、国体だけでなくすべての試合への出場の意味を考え直してもらい、確固たる理由をもって臨んでもらいたいと思う。確固たる理由、と書いたがそれは、俺がそうしたいからだ、という強い欲求だけでもそれはかまわない。上の人の顔色だけをうかがいながら生きていくような、小さくまとまった生き方の方が、むしろボート部員にはして欲しくない。OB会は、そういう人たちを応援するためにこそ存在している。と僕は思っている。いろいろなつまらない事を書き連ねたが、最後にコックス記からは大きく話がそれたことをお詫びして、ペンを置きたいと思う。

〈卒業にあたって〉

贈る言葉として

6年 古賀 洋 安

長大のボート部といえば他の人に一目置かれる存在だということは、僕は勧誘の時に言われたが、みんなも同様だと思う。学内はもちろん、少なくとも九州内の大学でも場所によって、よく実感できると思う。しかるに、自分が「長大のボート部です。」と言うと、彼らの第一声は「すごいですね。」か、それに類する言葉である。

この「すごい」という言葉がくせもので、いろんな意味があるので、どうしてときき返すと、やっぱりそういうことかと思うことは大部分の人が経験したことだろう。

もちろん試合のレセプションの芸などで有名になるのも悪くない(?)が、他人の第一声が本当の意味で「すごい」となるようこれから後輩のみなさんにはがんばっていただきたい。どこにいてもボート部のことが伝わってくるように。

追伸

N先生をあまり怒らせないように気をつけましょう。

子々川

6年 杉 浦 利 彦

そして わたしは発つだろう。しかし 鳥はうたって残るだろう。
わたしの庭は 緑の木 井戸といっしょに残るだろう。

午後の空は いつも青く 緩やかだろう、

そして 鐘桜の鐘は鳴るだろう、

そして 鐘桜の鐘は 鳴るだろう

今 この午後 鳴っているように。

わたしを愛してくれた人々は去るだろう、

そして 町は年ごとに 新たに燃えるだろう。

しかし わたしの精神は 花に飾られた庭の

秘められたその同じ隅で

なつかしそうに さまよいつづけるだろう。

(ファン・ラモン・ヘメネス「決定的な旅」)

卒業後は福岡で働くことに鳴りました。

同級の古賀、関、武野、谷川、福田には大変感謝しています。ありがとう。

一級下の岡、岡田、大石、牟田口達のおかげにより、大変楽しくすごせました。また、〃バンドウビバンバン〃を聴きたいものです。

最後になりましたが、OBの先生方、特に丹羽先生、大変お世話に

なりました。どうもありがとうございました。

追伸。卒業までにコンクリートを溶かす予定でしたが、ぜんぜん溶けなかったのが心残りです。だれか後をひきついで下さい。

私の先輩の藤本さんについて

6年 関

徹

長い話が聴けなくて淋しいです。

私の後輩の蓬萊君について

一九九二年卒業の中野さん以来連綿と続いてきた栄光ある「私の後輩」シリーズも、私を誹謗中傷して止まない某君の不逞により、中断の憂き目を見た。「存在自体がギャグ」としての彼に多大な期待を寄せた私としては飼犬に手を噛まれた心地であった。かくして赤恥をかかされた私であるが、この由緒正しいシリーズの再興のために後進を推挙せねばなるまい。熟慮の末、漕艇詩人の蓬萊君に白羽の矢を立てることにした。彼がいれば教団もきっと安泰に違いないし卒業後も安心してお布施を払うことができる。彼には、谷村新司の最新アルバム「I・T・A・N」のタイトル曲を是非とも聴いてもらいたい。これこそ蓬萊君をモデルにした歌に思へてならない。

闇夜の国から

別冊宝島一一四号「いまどきの神サマ」を読んで（特に四六頁から五五頁まで）、勧誘の参考にしてください。

卒業にあたって

6年 武野 正義

福井さん、安田さん、岩井さん、藤本さんの勧誘斑に声をかけられ、入学式より早く入部してから6年。振り返ると、早いなあと思う。卒業式の後、あの汚い池に投げこまれるのかと思うと、今から目がしみてくる。

ボートを漕いでいた5年間で、特に思い出が多い学年というものはない。それぞれの学年で、苦しいとか楽しいとかという言葉では表しきれない思いがある。たった5年間なのに、今の自分の半分以上を占める5年間だったと思う。

卒業してドクターになっても、僕はボート部員である。僕だけでなく全てのOBはそうだと思う。だから、後輩ボート部員は、ドクターだからといって恐縮せずに、同じボート部員だということを忘れず、OBに親しく接する努力をしてほしい。

卒業にあたって思うことは、強い部であれと後輩に檄を飛ばすからにはOBとしての努力を惜しまずやりたいということだ。小さいとは

思うけれども、ボート部員のためになることをしたいと思っている。
それでは皆さん、また会いましょう。

願望

6年 福田 顕三

最近見た夢

男女4人何処か寒い地方を旅行している。

他の3人は全く見知らぬ奴らだが、男とはどうやら友達らしい。2人の女の子は大人っぽい雰囲気美人で、どう考えてもおいしい旅行のようだ。

スキーから帰ってきて、男の実家のホテル（その土地の住民らしい）で夕食をとる。やたらと刺し身がでてきて、うまかった。

食事を終えて、散歩に行こう、ということとエレベーターで下に降りる。エレベーターの中で、私は男に対して、「いやうまかった、ありがとう」とか何とか言っている。

ホテルを出て雪道を散歩しながら、今夜ビデオで映画見ようかと相談しているのだが、私は男と怪しげな目配せを交わす。お互い下心が透けて見える。

そうやって歩いていると何故だか見覚えのある通りに出てしまう。この辺って誰か先輩が住んだような気がすると思え始める。

ここで前から人が歩いてくるのだが、これが私の親父だった。親父は「向こうに居たぞ」とか言って、そのまますれ違って、行ってしまう。

道路の向こうからまた誰か歩いてくる。顔の赤い太郎さんだ。さらに間髪を入れずに、何処からともなく数人の男共が現れる。私の学年の部員達だ。治だか、杉浦だか分からないが、「飲み直しましょう！」とさげびー目が覚めた。

どうやら、私と夢の中の男の目論見は、もろくも崩れたらしい。しかしその割に目覚めた後、爽やかな気分になった。私も「飲み直す」のに、かなり乗り気だったようだ。

いろんな人達がいる部員の中でも、どちらかというと私はクールに独自の世界を持っているように思われているふしもあるが、所詮この程度の男である。しかも、けっこうそういう自分が好きだし、これくらいもずっとこうありたいと思うし、できるなら皆んなも、なるべく、きっと、こうあって欲しいと望んでいるのである。

卒業にあたって

6年 山里 昌司

次号を乞う御期待！

A black and white photograph of a large group of young men, likely a sports team, posing outdoors. They are arranged in several rows, some standing and some kneeling. Many are wearing athletic gear like tank tops and shorts. A small sign is visible in the foreground.

〈部員雑感〉

「ボート部生活での故障歴」

5年 岡 真一郎

① 腰痛

〈原因〉ボートの漕ぎすぎ

一年生のときに、針を打ったままボートを漕がされたことがあった。悩まされ続けたが今では完治。

② 頭痛

〈原因〉外傷

学Ⅰのとき、カラオケ屋でスピーカーに頭を撃打し、それから2週間痛み続けた。走ると増強。エルゴを引くと寛解するのが不思議だったが、とりあえずエルゴを引き続けた。

③ 足の湿疹

右足の甲にお化けのような湿疹ができた。皮膚科に診てもらったら、細菌感染はないとのこと。どうもボートの靴でこするのが原因らしい。靴下をはくようにすると治った。関朝の遠征中、旅館で気持ち良く眠っていると、聖士に足を思い切り蹴られてメチャメチャ痛くて泣きそうになったがコーヒーゼリーで済まされた。

④ 心房細動

〈原因〉酒の飲みすぎ

ボート生活最後にシャレにならないオチがついてしまった。

ここで引退するにあたってみんなに贈る言葉、

「プロテインは最近うまくなったが、飲み過ぎには気をつけろ!!」

「引退して想うこと」

5年 岡 田 和一郎

自分が自分でいられるということ、それが問題だ。私は医学生というよりは、ボート部員だったのだ。

嗚呼、すべてのフェチに光あれ

5年 牟田口 滋

ボート部にいると、楽しい事が沢山あります。ある人は勝利の瞬間だ、いや練習の後の一杯目のビールだ、はたまたクルーでの秘密合コンだ、などとその楽しみは様々です。私の場合、喜びを感じるのは何といってもワイヤーブラシによるネジみがきであります。私もともと神経質であります。マージャンパイも必ず一定の順序に並べており、ぶっ通されると並べ方を読まれているのではないか、などと思ってしまう

います。毎日着るシャツのローテーションも決めております。ローテー
ションが崩れるのを防ぐ為、洗ってないのを再び着ることもあります。
落ち着くんです。バカですね。そんな私は、塩のつまったネジには我
慢ならんです。回らずして何の為のネジか。ネジ本来の山と谷の対
比の繰り返しが、胎内における浮遊のリズムと同調し、それを明らか
にするワイヤーは古代の熱き大地を照らす月の光、あるいは狂気を思
わせるではないか、なんてことは考えてないんですが、とにかくみが
くんです。さあ、光ってきました。は、早くナットをはめてみたい。こ
らえろ！喜びとは与えられた試練の大きさに比例するものではないの
か！軍曹、もう我慢できません！は、はめてやるうーうっ俺のナット
さいこおてなもんで喜び爆発です。こんなネジが一艇に何本もついて
いるんですから、そりゃあなた酒池肉林両手に花、好きにして欲しい
んだろいやよいやよも好きのうちってねおらおらここまで来て何言っ
てやがんだ今日は水曜日だから艇庫にやだれも来ねえぜどうだもうこ
んなに光ってやがるじゃねえかへっもう止まらねえぜこんなしてこ
んなしてこんなしてやるーうっ。みんなも艇は大事にしるよな。

日 記

4 年 大 石 正 雄

5 / 11 (木) スカルにぶつかりそうになるし、ピッチ計落とすし。
12 (金) 合宿入らずに済んだ。でも聖士のプロテインは潰れた。

13 (土) 氏家コーチ登場。すごい人だ。
28 (日) 倉富先生が天使達を連れて来た。岡田許すまじ。
6 / 3 (土) 山本、犬にパン食われる。
7 / 1 (土) 聖士おめでとう。
14 (金) 「魔女の宅急便」見た。いい話だ。明日消化受かるの
か。
8 / 8 (火) 蓬菜の車が消えた。
10 / 31 (火) イサオ行ったら山崎・程野・高橋・M山が来た。
12 / 14 (木) ボケが老婦人に襲いかかった。みんなも気をつける。

狼たちへの伝言

4 年 古 賀 聖 士

とにかく力を出しつくすことだけを考えた。逆に力を出しきれなか
ったら優勝はできないとわかっていた。ストレッチをしながら緊張感
が増していく。クルー5人とも言葉はなかった。でも準々決勝、準決
勝のような怖さはなかった。特に準々決勝は最悪だった。滋賀医大、岡
大、長大という最悪の組み合わせ。試合前何度も負ける場面が頭に浮
かんだ。その度に勝つイメージを頭に無理矢理思い浮かべたがすぐ消
えた。その繰り返しだった。今年の西医体中最も緊張した。「負けられ
ない」緊張感だった。

しかし、決勝前の今は違った。「優勝する」ための緊張感があつた。

その点では、心理的には準々決・準決よりはましだった。優勝しなかった。ストレッツしながら、西医体レベルなんて優勝しないかぎり価値がないというか喜べないということを確認して来た。

ふと今シーズンの練習を思い返した。練習の質的にはまだまだ改善する余地はあったと思うが、量的には可能な限りやった。シーズンに入る前「Aクルーに週末はない」と聞いていたが、本当だった。金・土・日は毎週合宿所だった。ボート大学で医学部というサークルをやっているような？毎日だった。

Aクルーじゃないと体験できないようなこともすぐあったし、楽しいこともたくさんあったが、トータルでは差し引きマイナスってとこか。しかしこのシーズンを乗り切ったこの5人なら優勝する資格は十分にある。5人のコンセンションは今シーズン中決勝前のこの瞬間最高に高まっていた。ストレッツが終わった。異様な精神状態のまま一階に降りた。見慣れた部員の顔があった。皆気楽そうなのがうめしかった。

近くにいた武野先輩、谷川先輩からいくつかのアドバイスを受けた。すぐく落ちついた。やはりファイナルを何回か経験したことのある人の話は真実性があり、重みがあった。出艇までまだ少し時間があった。周囲を見ると、いつのまにか観客の数がグッと増えていた。

時間になり艇の所へ向かう。途中、決勝で戦う相手の熊大のクルーとすれ違った。準決の時までのように言葉をかけ合うことはなかった。ただ目を合わせただけ。熊大も皆いい目をしていて、気合いが入っていた。

ミーティングが始まる。COXの言葉は重い。おもしろくないギャ

グを言うものもない。周りを見ると、他の部員の皆が集まっていた。今からのレースがAクルーだけのものではないことを実感した。でも「皆のためにも頑張る」みたいな大げさな気負いはまったく無かった。

出艇。バンザイの声、皆が見送っている。特に、谷川先輩は最後まで一人で船台から見送っていた。嬉しかった。ウォームアップが始まる。良くも悪くも無い。頭の中は勝つことしかない。日差しが強いので、橋の下の日影でスタート時間まで休む。ふとゴール地点の方を見ると、陸にはものすごい応援の人の数、昨年までは自分もあの陸から決勝を応援するだけだった。悔しい思いもした。しかし今年は違う。今自分が決勝の舞台にいる。複雑な気分だった。

スタート地点に艇を着けた。私の経験上、決勝はスタート出るか出られるかでは天と地の差であり、スタートから出てとばしていくのが圧倒的に有利である。とにかくスタートでミスロイングしないことだけ考える。ちょうどいいくらいの緊張感。すぐ来るぞ。

「よいい、ゴー」スタートした。いよいよ物語はクライマックスへ突入した。

「驚きと発見の町 鹿屋^{かのや}」

突然ではあるが、ここに記録せねばならないことがある。それは7月の国体九州ブロック予選（鹿児島）のときの宿泊所であった鹿屋市にある『城山観光ホテル』についてである。前年の朝日ガレットの時の『月の家』もすさまじかったが、このホテルもそれに優るとも劣らぬ怪しさだった。

まず玄関。ピクリとも動かぬ自動ドアを手で開けねばならないとい

うボロさ。中は薄暗く、奥の方から怪しげな老女が現れ、2階に案内されるが、途中の階段が暗くてよく見えないのだ、昼間なのに。なんとか登り終わると待ち構えていたのが巨大な熊の置き物で、不気味な雰囲気漂わせていた。

熊と目を会わさぬよう部屋に入るとこれまたびっくり。宴会場のように広いのである。そして隅の方には、薄汚れた布団がズラリと並べである。おまけに夏の昼間というのに冷房など入っておらず、扇風機が4〜5台、そのうち一台は私が足で転ばしてしまい、羽根が砕け散ってしまい使用不能となってしまった。さらにテレビが無いのだ。部屋の角かどの所にテレビらしきものを発見して見に行くと、それはなんかわけのわからん中国風の紙芝居の道具のような、言葉では表現しがたい得体の知れない物体だった。

テレビもなくとてつもなく暇だったので、風呂に入りに行くと、これまたすごい。シャワーからの湯の出方が妙に悪く、浴槽のお湯が煮えるように熱いのだ。けっきょく次の日からは近くの温泉に行くことになってしまった。

あまりに暇なので鹿屋市街に繰り出すと唯一、五階建てのデパートを発見。中に入ると、なんと一階しか営業しておらず、二階から上は封鎖されているのだ。

気を取り直して夕食。なかなかうまくいったし、この時間帯からお待ちかねの冷房が入るのだ。ところがこの冷房がくせ者で、夜になると部屋全体が極寒と化し、寒くて寝られないはめになってしまった。

おいしかった夕食も、その後がいただけない。食べ残しもそのまま皿を廊下に置いとくもんだから、夜になってゴキブリ様が徘徊はいかいしまく

って、汚くてたまらない。おまけに決勝当日の朝は車で事故って試合に間に合うかヒヤヒヤするし、いざ出艇したら雷雨に見舞われ、死ぬ思いで近くの岸に避難し、季節外れの寒さに体が震えまくった。本当に驚きと発見の連続だった。最終日の夜は鹿児島市内の崎元君の御自宅で一泊させて頂き、美味なる料理に舌鼓を打ち、鹿屋の悪夢も忘れさったのでした。帰路では、車の中に降り注ぐ雨も何のその、事故った車をブツとばし、無事に？長崎へと帰り着いたのでした。COXをして頂いた田中先生、お疲れ様でした。

レディ・ラック

4年 崎元 暢

幸運の女神よ

マンドリンの音を聞いてごらんよ

ちょっと後悔してしまうような

そんな気分になるだろう

すべては移ろっていく

おかしい場所に行き着いたオレも

また街に戻っていくんだ

レディ・ラック

ああもう遅いのはわかってるよ

だけど君に何かもうひとつ

くだらないものを買ってやりたいんだ

そうしたら言ってくれ

オレがずっと聞きたいと思っていたセリフ

来年はもっとよくなるでしょうってヤツを

だって雨の日続きで

オレのスーツは擦り切れてボロボロ

オレはあまりにも長い間

ビールに酔って泣いてばかりいた

レディ・ラック 幸運の女神よ

確かに相変わらずのおかしな世の中さ

確かに相変わらずのおかしな世の中さ

確かに相変わらずのおかしな世の中さ

ああ そうさ 幸運の女神よ

立っていられないようなオレを

押し倒したりしないでくれ

ああ そうだよ

レディ・ラック

もう立っていられないんだよ

確かに相変わらずのおかしな世の中さ

確かに相変わらずのおかしな世の中さ

(ロッド・スチュワート『レディ・ラック』より)

無 題

4 年 山 崎 励 至

昨年の12月に初めてマラソンに挑戦した。友人に誘われたのがきっかけで、初めは軽い気持ちだった。

前日の土曜日に一緒に申し込んだ陸上部のKとバレー部のTとともに宮崎入りし、コースの下見などを行った。また、僕が持って行ったシューズでは不安だったのでシューズもこの日に購入した。

夜はぐっすり眠ることができて予定よりも一時間程寝坊してしまった。起きてすぐにカロリーメイト一箱とご飯を半杯くらい食べた。その後、ストレッチをして、脚全体にサルメチールをぬっておいた。

会場へ到着した後は、ゼッケンをもらった後、ウォーミングアップやストレッチをして9時半のスタートを待った。目標は千メートルを5分のペースでいき、三時間半を切ることだった。

スタートしてからは少し速めだったけれどもいいペースで走ることができた。最初の10キロは48分くらいだった。そして、一ツ葉有料道路を走り、折り返しの21キロ地点では、1時間42分だった。21キロまでは、かなり楽な感じだったので、これはいけると思っていたが、25キロ

くらいで急に脚が前に出なくなってペースがおちてしまった。35キロくらいからはさらにつらくなって歩くくらいの速さで走っていた。なんとか歩かないようにすることで精一杯だった。ラストの3キロくらいでペースのちょうどいい人がいて、ひっぱっいたらペースを上げることができたが、結局、結果は3時間51分かかった。でも、完走できた爽快感があった。ゴールした後は、アクエリアスが飲み放題だったから1、2ぐいぐい飲んだ。ちょうど飲み終えた頃から何とも言い難い痛みが足を襲ってきて歩くのもつらくなってしまった。

足の痛みは温泉に入るとかなり軽くなり、いくらかましに歩けるようになった。その日のうちにまた長崎まで帰ってきたが、その後2日くらい歩くのがつらかった。

足の痛みなどが完全に消えるのには5日くらいかかったけれども、とてもいい経験をしたと思う。走り終わった直後は、もう二度と走るかと思ったけれども、来年も暇があったら走りたいと思う。

無 題

3年 鵜 瀬 匡 祐

サギのような勧誘から早三年。少しずつ水の上が心地よい場所だと思えるようになってきました。気のせいかもしれないけど。

平成七年十一月三十日

人生最良の日

3年 高 橋 優 二

昨日二解剖が終わった。

まあまあできた。

うれしかった。

自問自答

3年 谷 川 治

もう、ゆはごわはんめか。

——まだまだ。

「人と出会い、ぶつかりあい、

それでも支えあって生きてゆくこと」

3年 福田 義文

自己主張が強く、口が悪く、気が早く、愛情表現に乏しく、コンプレックスむき出しなオレはこれまでに幾度となく周囲と衝突を繰り返してきた。そして激しい衝突のなかからオレは多くの友情を見いだしてきたように思う。中学時代から永年激しくいさかいながらも結局今日まで親しくつきあってくれているヤツがいることを思うと、「喧嘩するほど仲がいい」とはよく言ったものだと思改めて感心したりする。

オレが成長してこれたのは、そんなオレの欠点を教えてくれたり、あるいはあえて欠点に目をつぶって見守ってくれた懐の深い多くの人々との出会いのお陰であると思う。その人達に感謝するとともに、これから訪れるであろう多くの新しい出会いがオレに磨きをかけてくれることを期待する。

僕の夢

3年 牧野 淳

皆さんは野田知佑という作家をご存知だろうか。彼は大学時代にボートを漕いでいて、作家になってからカヌーを始めた人である。彼のカヌーについての著書は多く、先日僕もそのうちの一冊を読んだ。「日本の川を旅する（カヌー単独行）」という本で、キャンプをしながらカヌーで川を下ってゆく旅を描いたもので、とても印象的であった。

現在僕はシングルスカルを漕いでいるが、カヌーとは個人競技という点で類似しており、またカヌーがアウトドア活動で楽しむことができることで以前からその魅力を感じていた。

その一方で、キャンプをして自然の中にどっぷりとつかり、釣りなどをして気ままな一日を送るということが前々からの夢であった。

そうした時にめぐり会ったのがこの本で、読んでいてこれこそ自分の夢が現実化したものであると強く感じた。実際に内容も自分の描いていた夢に限りなく近く、読み進めてゆくうちに、カヌーツーリング（カヌーで旅すること）に対する思いは強くなってゆき、読み終る頃にはすっかりカヌーのとりこになってしまった。

現在カヌーツーリングは、欧米に比べて日本ではあまりさかんではないようである。なぜこのように魅力的な事がはやらないのだろう、と疑問に思ってしまうが、カヌーにすっかりとりこになってしまった僕は、近い将来お金と時間ができたら絶対にカヌーツーリングを決行し

ようと考えている。

こたつの中で

3年 宮崎 浩 充

明日のことなど考えたこともなかった。今日と変わらぬ明日が来ると思いこんでいた。思いがけず、周りが見えなくなった。明日の自分は、今のこの自分とは全く違っているかもしれないと思った。目が覚めると、別の世界がひろがっているかもしれないと思った。たいいていのことは不安定であり、ふとしたはずみ、ちょっとした偶然で思ってもみなかった方向へとところがり始める。昔、誰かが言った。明日のことを言えば鬼が笑う。別の奴は、明日は明日の風が吹く、と言った。未来のことを心配してもはじまらない。語るなら夢を語ろう。人生楽ありや苦もあるさ。幸せは自分でつかんでやる。この先なにが起ころうと、笑顔で乗りこえてやる。他の何が変わろうと、俺たちは俺たち。それだけは変わらない。今のこの時間、この世界を精一杯生きていこう。

「山本さん、休み何やってたんですか。」

3年 山本 経之

合宿しました。

風見鶏

3年 吉野 俊平

すべての風がぼくを目指す
すべての目がぼくをみつめる
そしてぼくは、慄えながら
たったひとつの矢印になる

全員が風見鶏となれるような、全員がそれを支える風となれるような、そんな部の一員でありたいと思う。

今年の目標

2年 及川 将弘

決して偉くならうなんて考えちゃいけない。何でもできる、なんて妄想もあまりしない方がいい。普通よりは、変に生きること。人を恨むよりは、人に羨まれること。妬まない。そねまない。バカを自慢しない。愛されないことを悔しがらない。必要なのは、愛することと変になることだけなのだ。あとは努力である。(すいません、引用です。)

「ひとつこと」

2年 渋谷 正樹

昨日の会話

一生理の一夜づけを始めて間もなく電話があった。岡さんからだった。(やばい、岡さんからの電話ってろくなことじゃあないんだ。)

岡さん…「文集の原稿のことだけど。」

ぼく…「えっ、何も聞いてませんけど。」

岡さん…「明日にも出そうと思うんだよね。載らないと淋しいだろ。」

一言でいいから。何かあったら今言ってよ。」

ぼく…「……。」(そんな、突然言われたって。)

岡さん…「じゃあ、明日までに部室に置いといて。そうじゃないと、載らんけんね。」

ぼく…「はい。」(一生理、どうしよう。)

牟田口さんへのお礼

牟田口さん、幹部兼クルーキャップ兼整調兼ムードメーカーご苦労さまでした。牟田口さんのおかげで、負ける気がまったくしませんでした。それにしても、コックスで出るはずだったのに予定が狂っちゃいましたね。(ぼくが悪いんだっけ?)

関さんついに長崎を去る

追いコンの時に関さんに、「しぶちゃんは俺がいなくなって嬉しいんだろ?」って言われてしまいました。そんなことないですよ。(こんなことばかり言ってるから、イジメられるのか。)

最後に

試験まであと2時間です。そんなときにこんなことをしていると知られたら、蒲池君にまた冷笑されるでしょう。

2月14日(晴)

2年 土井 晋平

書くことがないので日記でも書いてみる。

今日はバレンタイン・デーだ。チョコはきれいだからいらないけど愛がほしい。年が明けてから僕はどうも体調がよくない。免疫異常らしい。内科はいいかげんだ。わからなければわからないと言ってくれ、哲爺内科。

ジョンと私(海外ドキュメンタリー)

2年 蓬萊 彰士

私は最近イタリア人で友人のジョンと会った。そのことをここにかけます。本当は会話はイタリア語だったけれど和訳してかけます。

ジョン「よお、彰ちゃんじゃないか!!」

私「おお、ジョンひさしぶりだね!!」

ジョン「どうだい元気だったかい?」

私「ああ元気だったよ、君はどうだい?」

ジョン「おいらも元気さ!!」

私「じゃまたな」

ジョン「おう!!」

私はこの再会から友情の価値観が変わった。それは大百村(櫻文村)

おしまい。

ナインティーンナインティーンシックス

2年 程野 茂樹

九五年は散々な年でした。三月に留年が決まり、落ちこんだ時期もありました。

しかし、その分毎週ゴールデンウィーク、趣味にバイト、けっこう充実してました。もう十分遊び尽くしたので、九六年は生まれ変わって勉強、部活に全力投球します。

今、思うこと

2年 松 永祥志

去年は充実したい年だった。一年の時は部誌に「ボートの良さが理解できない。」などと書いたが、去年は楽しくボートを漕げたと思う。それは、レースでいい結果を残せるようになったからだろう。やはり勝負は勝たないときつい練習をやっている意味がないと思う。今年は

ひとつでも多く勝てるように頑張るつもりだ。

ぼーとにたましいをひかれたものたち

2年 森 創

去る95年7月、我らがバンダイからマスターグレードシリーズ第一段としてRX78-2ガンダムが発売された。ちょうど合宿が始まるころだったと思う。

「バンダイのプラモデル。」

このフリーズはどこかおかしい。大体、プラモデルという言葉は、田宮模型の商品名であるから、これでは

「パナソニックのウォークマン。」

と言っているのも同然だ。

閑話休題。

まあ、細かい話は抜きにすると、自分はアッガイ(MSM-04)、ゾグック(MSM-08)、アッグガイ(MSM-04N)などの際物、まともなものではフルアーマーガンダム(RX-78-FA-2)、ドム(MS-09量産型)、MSVものではグフ飛行試験型(MS-07H)をもっていた。

もっとも、まともに完成できたのはドムだけで、しかもカラーをグレーガンダムっぽい仕様にしようと思ったのが運の尽き。ティガーの塗装のあまりのグレー(名前は忘れた)で塗ったらつや消しでなかっ

たのでピカピカでこの世のものとも思えない仕上がりになってしまった。飛行試験型はもっと悲惨で、左大腿外側のパーツと右大腿外側のパーツをくっつけてしまったので下肢が取り付けられなくなり、腰にバーニアをつけてジオングモドキにするほどの技術も酔狂さも持ち合わせていなかったのであわれゴミ箱行きとなってしまった。際物達は、その独特のフォルムが嫌いで(どこことなくタイムボカンシリーズをほうふつとさせる気がする。)いまではどこにいたのやら。いまとっておいたらなんでも鑑定団級だったろうにと悔やまれる。

とにかくガンダムが好きだった。と言っても75年生れであるから、当然再放送世代であることはほぼまちがいない。しかも、全部通して見た訳ではないし、(全43話中確実に見た覚えがあるのは第1話「ガンダム大地に立つ」、第3話「適の補給艦をたたけ」、第40話「エルメスのラアア」、最終回「脱出」ぐらいか。)他にもロボットものは星の数ほどあったのだからこだわる必要はないのだ。

多分、データに引かれたのだろうと思う。MSのその細かい設定といたら目をみはるばかりだ。大体、番組中3秒も出ない雑魚のザクだけ見てもそのバリエーションは約20種類にも及ぶ(しかも元祖シリーズだけ)。

考えて見れば自分のデータ好きはここに原点があるのかもしれない。(べつにローヤーの皆様方をMSと勘違いしているわけではないが。)とにかく、今度のシーズンもデータを取りまわってやる。

でも、そのまえに「ラテン語のデータ」を覚えなくては・・・。

参考資料：完全版 機動戦士ガンダムプラモ2大百科(勁文社)

Hobby Japan (6月号、No.315)

(株式会社ホビージャパン)

SANDINISTA!

1年 ウィ クアン ロン

普通ならココで「ボート部に入部して早八ヶ月、練習はきついけど、みんなと楽しくやっています。」と書くのだけど、ご存知の通り7月のケガ以来練習らしいことを殆どしていない、つまり部活動の $\frac{2}{3}$ を部公認でサボっていたようなものだ。映画を最初の30分しか観ていない人に「ねエ、映画面白かった？」と聞いても答えられないのと同様、自分はこれまでの部活動についてまだ何も言えない。

それではケガしてる間なにしていたのか、と聞かれると、他の部員には悪いが休んでいた五ヶ月間、自分は楽しませてもらいました。他のみんながエルゴダランだへヴィーウェイトだと毎日体力の限界に挑んでいる間、自分は図書室で「哲学入門」や「日本の論点」を読んだり、ゲーセンで超必殺技やドリフトを決めたり、家でゴロゴロして最近こっているパンクを聞きながら雑誌を読みふけていたのです。

だが年が明けて、再び練習に復帰した時、そのツケが回ってきた。体重が増え、体力がおとろえ、まともにオールが持てなくなっていた。このため以前からあった実力のギャップ（特に同期の連中との間）がさらに大きくなってしまった。言い方を変えれば、自分は高速道路に乗り遅れただけでなく、エンストまで起こして、高速に乗って先に行っ

てしまった他車を車を捨てて自転車で追いかける、という状況に立たされているのである。

だから96年は気持ちを一新して、新入部員になったつもりでがんばっていいと思う。

「最高のランチタイム」

1年 蒲地 徹

誰もが知っているように、長崎とはなかなかお洒落な街である。あの晴れた気持ちのよい日曜日にどう過ごすか、それはたいして迷うことではないだろう。

まず、長崎の名物、チンチン電車に乗る。これはどこまで乗っても百円であり、ふとしたところに人の優しさを感じる。正覚寺下行きに乗り、築町電停で降車、若い女子大生が行き交う「オランダ通り（別称 活水通り）」を目指す。

オランダ通りに入ってオランダ坂へ行く手前にファミリーマートがあるのは既知の通りである。この、ファミリーマートの2階に、私達の心を存分に満たしてくれるお店がある。その店の名はタフト。きつとあなたにとってこれまでにない最高のランチとBGMをプレゼントしてくれることと思う。

雑感

1年 松本周平

今日はエルゴひいた後、うちあげあるから嬉しい。

十二月二十日

部室にて

酒

1年 諸藤陽一

4月：勧誘の飲み会多数あり。酒に慣れてくる。

5月：酔っ払って、暴れる先輩をみて、ただただ驚く。

6月：酒量増える。

7月：ヒューバイの打ち上げでかなり飲んだ。朝起きたら公園。

8月：東京で捕まる。

9月：教1で飲んでてキレる。セクハラをしたらしい。

10月：岡田さんの家でキレる。ここでもセクハラをしたようだ。

11月：医学展でキレる。暴れまわったあげく、崖から落ちて左半身打

撲。ボート部の飲み会が非常に激しくなってくる。今後が楽しみ。

平成6年度長崎大学医学部漕艇部OB会収支報告

(H7年3月20日現在)

1. 収 入

前 期 繰 越	755,438
会 費 収 入 (52名)	2,230,000
寄 付 収 入	450,000
新艇購入費残金	22,838
預 金 利 息	1,134
	3,459,410

2. 支 出

朝日レガッタ遠征費	400,000
県漕艇協会登録費	39,000
艇 修 理 費	358,440
西医体宿泊費	790,500
〃 艇運送費	280,500
コーチ料 (丹羽先生)	240,000
浦上川乗艇会諸費用	77,675
慶弔費 (糸柳氏、佐藤氏)	31,670
借 入 金 返 済	750,000
切 手 代	34,080
通信費 (郵便振替手数料、送金料)	4,570
雑 費	1,111
	3,007,546

3,459,410 - 3,007,546 =	451,864 (現在残高)
	- 347,860 (借入金)
	- 104,004

長崎大学医学部漕艇部OB会会則

第一条 本会は長崎大学医学部漕艇部OB会と称する。

第二条 本会の事務所は、長崎大学医学部漕艇部内に置く。

第三条 本会の目的は、漕艇部の円滑な運営の為に、精神的、物質的な援助を行い、あわせて部員の身体の錬成ならびに人格の陶冶を図り、会員相互の親睦をはかるものとする。

第四条 本会は、漕艇のOBからなる一般会員ならびに本会の趣旨に賛同する賛助会員をもって組織する。
第五条 本会に左記の役員を置く。

(1) 会長 一名

(2) 副会長 一名

(3) 顧問 若干名

(4) 総務 若干名

(5) 会計監査 一名

第六条 会長、副会長、総務、会計監査はOB会において互選し、顧問は、会長が委嘱する。
第七条 役員の任期は、一年とする。ただし、再任は妨げない。

第八条 漕艇部顧問教官は、OB会に出席し、部の事情を説明しなければならない。

第九条 総会は、年に一度これを開くものとする。

第十条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

第十一条 本会の会費は、一般会員より徴収し、会費は年度ごとに総会において決定する。

第十二条 本会の会計年度は、毎年四月一日より始まり翌年三月三十一日に終わる。

第十三条 本会の予算、決算は、総会の承認を得なければならない。

第十四条 本会には左記の帳簿を備える。

(1) 会則

(2) 会員名簿

(3) 会計簿

第十五条 会則の変更は、総会の承認を得なければならない。

付 則

この会則は、昭和五十四年四月一日から施行する。

(昭和五十五年三月二十二日改正)

漕 魂 の 歌

今 里 雅 之：作詞

岩 谷 怜：作曲

一、街を離れ ひたすらに

子々川の海へ 滑り出す

心地良い風 潮の薫り

キャッチロー キャッチロー

にじんだ汗が 流れだす

パドル行こう さあ行こう

二、水を切り走る 崎陽の

シュルルと放つ 快音は

朝もやの海に 似合っている

キャッチロー キャッチロー

心待つの は 安らぎの

オールメン イージーオール

オールメン イージーオール

三、スタート前の 緊張が

競り合う 気概と足蹴りに

ピッチを上げろ コックスの声

キャッチロー キャッチロー

燃え尽きんと 漕ぎ続け

ああ喜びの トップゴール

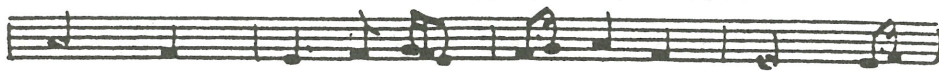
漕 魂 の 歌

作曲：岩谷 冷

作曲：岩谷 冷



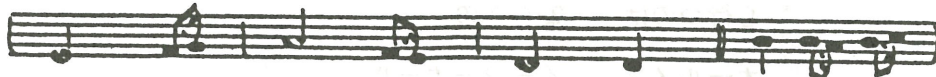
① ま　　ち　　を　　は　　な　　れ　　ひ　　た　　－　　す　　ら
み　　ず　　－　　を　　き　　り　　は　　し　　る　　き　　よ　　う
ス　　タ　　ー　　ト　　え　　え　　の　　き　　ん　　－　　ち　　や　　う



に し し が わーの う み へ す べ りだ
の シュ ル ル とーは まー つ か い おん
が せ り り うーき が い と あ し げり



す こ こー ちよ いか ぜ し お の かーお
は あ さも やの うみ に に あ ー てこい
に ビッ チー ー をあけ ろ コッ ク スのーと



り	キャッチ	ロー	キャッチ	ロー	に	じ	んだ	あせ
る	キャッチ	ロー	キャッチ	ロー	こ	こ	ろま	つの
え	キャッチ	ロー	キャッチ	ロー	も	え	つき	んー



が	な	が	れ	だ	す	パ	ド	ル	い
は	や	す	ら	ぎ	の	オ	ール	メ	ーン
と	こ	ぎ	つ	づ	け	あ	ゝ	よ	ろ

こび



う	さ	あ	ー	いー	こ	う	②	み
オール	オール	メー	ン	イー	ジー	オール	③	ス
の	ト	ーッ	ブ	ゴ	ール			

琵琶湖周航の歌

小 口 太 郎：作詞／作曲

我は海の子 さすらいの 旅にしあれば しみじみと

昇る狭霧や さざ波の

滋賀の都よ いざさらば

松は緑に 砂白き 雄松が里の 処女子は

赤い椿の 森蔭に

はかない恋に 泣くとかや

波のまにまに 漂えば 赤い狛火 懷しみ

行方定めぬ 波枕

今日は今津か 長浜か

瑠璃の花園 珊瑚の宮 古い伝えの 竹生島

仏のみ手に 抱かれて

眠れ処女子 安らけく

長崎大学医学部漕艇部OB会役員名簿（平成8年3月現在）

	氏 名	住 所	〒	電話番号	
会 長	村 上 文 也	長崎市五島町3-3	850	(26)7757	開 業
顧 問	須 山 弘 文	長崎市横尾2丁目4-5	852	(56)1321	前法医学教授
〃	高 久 功	長崎市ダイヤランド1丁目 44-15	850	(79)3699	前眼科学教授
〃	尾 崎 正 若	熊本県菊池郡西合志町須屋 2740-30	861-11	096(242)2761	前第2薬理教授
〃	山 口 光 次	長崎市昭和町882	852	(44)5272	県漕艇協会会長
〃	吉 田 恒 雄	〃 矢の平町2-19-26	850	(25)4979	県漕艇協会理事長
総務会計	中 野 基	〃 坂本町3-24 パールマンション岡本202	852	(44)7499	形 成 外 科

長崎大学医学部漕艇部OB会賛助会員名簿（アイウエオ順）

氏 名	住 所	〒	電話番号		卒業年
井 上 満 治	長崎市岩屋町17-1	852	(56)2711	開 業	S 19
岡 本 英 雄	島原市湊道町2丁目7024	855	0957(62)2452	開 業	S 7
片伯部 貢	長崎市扇町2-22	852	(44)3043	開 業	S 17
佐 藤 安 雄	〃 本石灰町5-11	850	(22)0321	開 業	日 大
鈴 谷 悦 堂	〃 緑ヶ丘町1341	852	(46)2052	開 業	S 19
城 谷 勝 明	〃 平野町14-13	850	(22)6831	開 業	S 20
高 木 聡一郎	〃 今博多町37	850	(24)0590	開 業	S 20
高 久 功	〃 ダイヤランド1丁目 44-15	850	(79)3699	長大眼科学前教授	東北大
田 中 敏	〃 住吉町3-11	852	(44)1770	開 業	S 16

長崎大学医学部漕艇部コーチ名簿

	氏 名	住 所	〒	電話番号	
	氏 家 佑 二	西彼杵郡長与町吉無田郷1163 番地37長崎サニータウン30-8	859-06	0958(83)8875	平成1年～3年 平成7年～
	Alex J. Bartha	福岡県遠賀郡岡垣町海老津 1250-9-806	811-42	093(282)2903	平成4年～5年
	Tim Cornell	福江市松山町26 グリーンハイツ304	853	0959(72)8395	平成5年～

長崎大学医学部漕艇部OB会一般会員名簿

氏 名	卒業年	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所	医 局	〒	電話番号
石 橋 盟 士	S30	1. 石橋整形外科病院 2. 長崎市中国町22-17	整 形	852	0958(45)6181
大須賀 浩	S30	1. 大須賀医院 2. 長崎市弁天町17-1	小 児 科	852	0958(61)3576
長 西 靖	S46	1. 長西耳鼻咽喉科医院:広島市 佐伯区五日市駅前1丁目11-37 2. 広島市佐伯区五日市駅前1丁目 11-1	耳 鼻 科	731-51	0829(23)8122 0829(23)5839
冬 野 誠 三	S48	1. なばたけ冬野クリニック: 唐津市菜畑3660-1 2. 唐津市菜畑4208-57	九 大 2 内	847 847	0955(75)2220 0955(74)7378
枡 本 恵一良	S49	1. 枡本内科クリニック 2. 堺市鳳西町1丁目92番2号		592 592	0722(62)5073
峰 雅 宣	S49	1. 健保諫早病院: 諫早市永昌東町24-1 2. 長崎市エミネント葉山町9-11	1 内	854 852	0957(22)1380 0958(56)9387
朝 戸 末 男	S50	1. 朝戸病院:大島郡和泊町和泊14 2. 鹿児島県大島郡和泊町和泊16		891-91 891-91	0997(92)1131 0997(92)2280
早 田 篤	S50	1. 長崎市立乳児院:富士見町6-22 2. 長崎市立岩町77-10	小 児 科	852	0958(61)1418 0958(62)5622
石 川 治	S50	1. 岡山大学附属病院第2外科: 岡山市鹿田町2-5-1 2. 兵庫県姫路市古二階町12	岡 山 大 外 科	700 700	0862(23)7151 0792(23)1307
川 口 昭 男	S51	1. 井上病院:長崎市宝町8-9 2. 長崎市柳谷町14-27	1 外	852 852	0958(47)2111 0958(47)5529
神 田 源 太	S51	1. 長大附属病院皮膚科 2. 長崎市片淵町1-12-7	皮 膚 科	852 852	0958(47)2111 0958(22)7051
田 中 清 一	S51	1. 中山記念病院: 八王子安町3-18-1 2. 八王子市上壱分方町246-1	女子医大消化器 セ ン タ ー	192 193	0426(26)5111 0426(51)7640

氏 名	卒業年	1.勤務先・勤務先住所 2.現住所	医 局	〒	電話番号
堤 健 二	S51	1. 長崎県島原温泉病院脳神経外科:島原市下川尻町7895 2. 島原市新建2142	脳 外	855 855	0957(63)1145 0957(64)3974
出 口 正 己	S54	1. 白壁美容外科: 大阪府北区芝田1丁目14-7 2. 神戸市東灘区本山北町 6-17-45 601	形 成	530 658	06(372)2512 078(413)5008
土 居 浩	S54	1. 有川保険所: 南松浦郡有川町有川郷2254-17 2. 南松浦郡有川町有川郷2349	小 児 科	852 854	0959(42)1121 0959(42)3446
井 上 健一郎	S55	1. 井上病院:長崎市宝町8-9 2. 長崎市宝町6-18 別館ビル401	2 内	850 850	0958(44)1281 0958(46)2218
内 田 隆 寿	S50	1. 長崎労災病院外科: 佐世保市瀬戸越町2-12-5 2. 佐世保市瀬戸越町3-11-30	2 外	857-01 857-01	0956(49)2191 0956(40)6831
瀬 戸 信 二	S50	1. 長大附属病院第3内科 2. 長崎市岩屋町17-2	3 内	852 852	0958(47)2111 0958(57)1808
田 川 泰	S50	1. 長大附属病院第1外科 2. 西彼杵郡長与町嬉里郷98-12	1 外	852 859-06	0958(47)2111 0958(87)1391
富 海 五 郎	S50	1. 松山記念病院: 松山市美沢1-9-38 2. 松山市東野1-6-15	愛媛大精神科	790 790	0899(25)3211 0899(77)1812
中 野 文 耕	S50	1. 若松国民健康保険診療所: 南松浦郡若松町若松郷281 2. 南松浦郡若松町若松郷281	2 外	853-23 853-23	0959(46)3315 0959(46)3318
丹 羽 正 美	S50	1. 長崎大学第1薬理教室 2. 西彼杵郡長与町高田郷1613-4	1 薬 理	852 859-06	0958(47)2111 0958(83)6395
馬 渡 一 雄	S50	1. 馬場病院 2. 長崎市西山町2丁目9番2号	3 内	850	0958(22)0101
桜 井 一 枝	S50	1. 光藤小児科内科医院: 福山市川口町2-22-11 2. 福山市曙町5丁目219-3	小 児 科	720 720	0849(53)0307 0849(54)4454

氏 名	卒業年	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所	医 局	〒	電話番号
江 口 圭 介	S55	1. 佐世保労災病院: 佐世保市瀬戸越2丁目12-5 2. 佐世保市瀬戸越2丁目13-9 西7-202号	3 内	857-01 857-01	0956(49)2191 0956(40)8719
吉 良 満 夫	S55	1. 浜崎外科 2. 長崎市曙町3-6 浜崎外科内	2 外	852 852	0958(61)6034 0958(61)7431
小 村 三代治	S55	1. 鹿児島大学小児科: 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 2. 鹿児島市鴨池新町28-6-906	鹿児島大小児科	890 890	099(251)7322 099(275)5354
成 松 元 治	S55	1. 国立長崎中央病院心臓血管外 科:大村市久原2-1001-1 2. 大村市久原2-1001-1 病院官舎	心 外	854 854	0957(52)3121 0957(52)3121 ~内線432
水 谷 明 正	S55	1. 長崎記念病院: 長崎市深堀町1-11-54 2. 長崎市ダイヤランド1丁目36-19	2 外	851-03 850	0958(71)1515 0958(78)3807
小 倉 猛	S55	1. 熊本労災病院形成外科: 八代市竹原町1670 2. 熊本市画図町重富744-13	形 成	866 862	0965(33)4151 096(379)7592
谷 川 宗 生	S55	1. 長崎北病院: 長崎市滑石5丁目4-61 2. 西彼杵郡長与町高田郷1196-122	3 内	852 859-06	0958(57)0001 0958(83)4030
難 波 裕 幸	S56	1. 長大原研細胞 2. 長崎市岩屋町25-41-701	原 研 細 胞	852 852	0958(47)2111 0958(56)4155
前 原 洋 二	S56	1. 森整形外科:福岡県山門郡瀬高 町大字下庄590 2. 福岡県久留米市津福本町786-6 グランピアマンション津福1001	整 形	835 830	0944(63)2040 0942(37)5038
村 山 晋	S56	1. 鈴鹿回生総合病院 2. 三重県津市桜橋3丁目53-17 津ロードリーマンション202号	内 科	514 514	0953(86)1011 0952(24)0129
山 近 史 郎	S57	1. 長崎附属病院第3内科 2. 長崎市桜馬場2丁目1-1-1101	3 内	852 852	0958(47)2111 0958(25)3580
糸 柳 則 昭	S57	1. 佐世保市立総合病院: 佐世保市平瀬町9-3 2. 佐世保市八幡町64-1 みづちパレス八幡205	1 外	857 852	0956(24)1515 0956(25)5234

氏 名	卒業年	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所	医 局	〒	電話番号
倉 富 彰 秀	S58	1. 倉富眼科医院:佐賀県神埼郡神埼町大字田道4里2435-1	眼 科	842	0952(52)8841
		2. 佐賀県神埼郡三田川町豆田2452-2		842	0952(52)8747
岡 田 代 吉	S58	1. 北九州市立八幡病院:北九州市八幡東区西本町4-18-1	1 外	805	093(662)6565
		2. 北九州市八幡西区八千代町7-3404号		805	093(622)6803
末 永 俊 郎	S58	1. 末永産婦人科麻酔科医院:北九州市門司鳴竹1丁目14-16	産 婦 人 科	801	093(321)2453
		2. 北九州市門司区旧門司1丁目5-34 コーポランド和布刈棟3001		801	093(332)1557
中 崎 隆 行	S58	1. 諫早総合病院: 諫早市永昌東町24-1	1 外	854	0957(22)1380
		2. 諫早市永昌町23-8 医院宿舍302号		854	0957(22)1380 ～内線502
永 見 耕 一	S58	1. 永見眼科医院:萩市土原351	眼 科	758	08382(2)0720
		2. 山口県萩市土原351		758	08382(2)0720
永 山 雄 二	S58	1. 長崎大学第1薬理教室	1 内	852	0958(47)2111
		2. 西彼杵郡長与町吉無田郷579-40		859-06	0958(87)2796
松 永 伸 彦	S58	1. 酒井眼科病院:武雄市武雄町大字永島字水町13249-4	眼 科	843	0954(22)3988
		2. 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿乙1603		843-03	0954(42)3592
今 里 雅 之	S59	1. 中山記念病院: 八王子市小安町3-18-1	女 子 医 大 消化器センター	192	0426(26)5111
		2. 八王子市緑町900-1		193	0426(27)3835
小 林 誠 博	S59	1. 川棚病院: 東彼杵郡川棚町下組郷2005-1	1 外	859-36	0956(82)3121
		2. 東彼杵郡川棚町下組郷2005-1 川棚病院宿舍17号-101		859, 36	0956(82)6187
平 野 友 久	S59	1. 上戸町病院:上戸町129		850	0958(79)0705
		2. 長崎ダイヤランド3丁目28-6		850	0958(78)8913
日 高 真	S60	1. 筑波胃腸病院:茨城県稲敷郡 茎崎町高見原1-2-39	女 子 医 大 消化器センター	300-12	0298(74)3321
		2. 茨城県稲敷郡茎崎町 高崎692-5		300-12	0298(73)3382
松 岡 直 樹	S60	1. 長大附属病院第1内科	1 内	852	0958(47)2111
		2. 長崎市西山台2丁目1-8		852	0958(46)2158

氏 名	卒業年	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所	医 局	〒	電話番号
矢 次 登	S61	1. 百合野病院: 西彼杵郡時津町本村郷1155-2 2. 長崎市本尾町7-3	整 形	851-21 825	0958(57)3366 0958(49)5241
高 須 勝 也	S61	1. 小城町立病院:佐賀県小城郡 小城町大字松尾4100 2. 佐賀県小城郡小城町大字松尾 4101-3 小城町立病院官舎	外 科	845 845	0952(73)2161 0952(72)2517
中 里 貴 浩	S61	1. 亀田総合病院消化器内科: 千葉県鴨川市東町929番地 2. 鴨川市広場830-10-202	内 科	296 296	04709(2)2211 04709(3)4607
中 山 大 介	S61	1. 国立長崎中央病院: 大村市久原2丁目1100-1 2. 大村市久原2丁目1100-1B棟	産 婦 人 科	854 854	0957(52)3121 0957(52)7747
青 木 幹 弘	S62	1. 長大附属病院小児科 2. 長崎市金堀町41-13	小 児 科	852 852	0958(47)2111 0958(62)6138
石 井 久 敏	S63	1. 不知火病院: 福岡県大牟田市大字手鎌1800 2. 福岡市西区姪浜4丁目21-1 クリーンコナハイ302	精 神 科	836 819	0944(55)2000 092(884)0291
岡 野 邦 彦	S63	1. 国市みつぎ総合病院: 広島県御調郡御調大字市124 2. 広島県御調郡御調大字神15-1 職員アパート3号館103	原 研 細 胞	722-03 722-03	08487(6)1111 08487(6)3509
朝 長 道 生	S63	1. 国立嬉野病院: 嬉野町大字下宿丙2436 2. 佐賀県嬉野町大字下宿丙2436 国立嬉野病院共同官舎内2-22	2 内	850 852	0954(43)1120 0954(42)3326
中 島 寅 彦	S63	1. 九州大学附属病院耳鼻咽喉科: 福岡市東区馬出町3-1-1 2. 福岡市中央区梅光園1-1-5-1202	九 大 耳 鼻 科	812-82 810	092(641)1151 092(751)7106
天 野 秀 明	H1	1. 長大附属病院熱研内科 2. 長崎市城山台1-30-17	熱 研 内 科	852 852	0958(47)2111 0958(64)1101
金 色 正 広	H1	1. 長大附属病院麻酔科 2. 長崎市葉山1丁目6-34 トーカンマンション葉山205	麻 酔 科	852 852	0958(47)2111 0958(56)7841
吉 川 公 正	H1	1. 鶴見病院: 大分県別府市大字鶴見433 2. 大分市田室町12-2 ベルメゾン荒巻101	脳 外 科	874 870	0977(23)7111 0975(46)6513

氏 名	卒業年	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所	医 局	〒	電話番号
旭 隆 宏	H2	1. 福岡市立子供病院: 福岡市中央区唐人町2丁目5-1 2. 福岡市中央区今川1丁目1-13 アークハイツ大堀506	小 児 科	810 810	092(713)3111 092(732)6993
白 藤 智 之	H2	1. 長大附属病院第1外科 2. 長崎市岡町3-10 竹馬岡町ビル402	1 外	852 852	0958(47)2111 0958(48)0191
寺 尾 保 信	H2	1. キャンスバーン病院 2. 5 DIRLEDON GATE WESTERTON, BEARSDEN, GLASGOW, G-61 1NP, UK	慈恵医大形成		44-141-942- 6172
中 村 晋	H2	1. 九州大学附属病院第2内科: 福岡市東区馬出町3-1-1 2. 福岡市中央区舞松原1-6-18	内 科	812-82 813	092(641)1151 092(661)4367
山 本 太 郎	H2	1. 東京大学 2. 東京都文教区本郷5-5-17 大光ビル407	細 菌 学	113	03(3813)1314
生 田 安 司	H3	1. 長崎大学附属病院第1外科 2. 長崎市平和町16-19	1 外	852 852	0958(47)2111 0958(49)3431
市 川 辰 樹	H3	1. 北九州市立八幡病院:北九州市 八幡東区西本町4-18-1 2. 北九州市八幡東区前田1丁目 11-4-1405	1 内	805 805	093(662)6565 093(662)3880
鈴 木 康 弘	H3	1. 九州大学生体防御医学研究所感 染防御部門 2. 福岡市東区馬出町4丁目4-23 カーサブランカ206号	九 大	812 812	092(641)1151 092(643)2610
田 中 邦 彦	H3	1. 長崎大学第1薬理学教室 2. 長崎市平和町16-19	2 外	852 852	0958(47)2111 0958(49)3431
山 本 修	H3	1. 高知県立西南病院: 高知県中村市右山1973 2. 高知県中村市右山424-2 医師公舎	2 外	787 787	0880(34)1234 0880(35)3539
劉 中 誠	H3	1. 長大附属病院第1外科 2. 長崎市江平3丁目3-23 第3ビルプライム白石401	1 外	852 852	0958(47)2111 0958(47)3903
黒 木 保	H4	1. 長大附属病院第2外科 2. 長崎市竹の久保町1-5-602	2 外	852 852	0958(47)2111 0958(61)0684

氏 名	卒業年	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所	医 局	〒	電話番号
佐 藤 俊 一	H4	1. 信州大学附属病院第3内科: 松本市旭3-1-1 2. 長野県松本市蟻ヶ崎1-4-46 メゾン蟻ヶ崎102	信州大 3 内科	390 390	0265(35)4600 0263(36)1468
津 田 純	H4	1. 長大附属病院耳鼻科 2. 西彼杵郡時津町浦郷396-24 あこやハイツ401号	耳 鼻 科	852 851-21	0958(47)2111 0958(82)8397
中 野 基	H4	1. 長大附属病院形成外科 2. 長崎市坂本町1-3-24 パールマンション岡本202	形 成	852 852	0958(47)2111 0958(44)7499
福 井 雅 士	H4	1. 佐賀医大附属病院麻酔科: 佐賀市鍋島5丁目1-1 2. 佐賀市鍋島町3丁目8-22-3110 江里桜笹屋茶寮	形 成	849 849	0952(31)6511 0952(32)5413
南 恵 樹	H4	1. 長大附属病院第2外科 2. 長崎市国分町8 押測方	2 外	852 850	0958(47)2111 0958(22)9525
趙 成 三	H4	1. 長崎大学附属病院麻酔科 2. 長崎市横尾2丁目13-17 シティパレス横尾303	麻 酔	584 584	0958(47)2111 0958(56)3793
竹 下 浩 明	H5	1. 佐世保市立総合病院 2. 佐世保市祇園町1-8 ネオハイツ佐世保903	1 外	857 857	0956(24)1515 0956(23)3935
近 藤 新 二	H6	1. 長大附属病院形成外科 2. 長崎市油木町35-60 ビーンヒルズ本田302	形 成 外 科	852 852	0958(47)2111 0958(47)5292
斎 藤 将 隆	H6	1. 長大附属病院麻酔科 2. 長崎市西山町4丁目511 サンレオ西山台103	麻 酔	852 850	0958(47)2111 0958(42)0452
阪 上 学	H6	1. 北九州市立八幡病院: 北九州市八幡東区西本町4-18-1 2. 北九州市八幡東区西本町4-18-1	麻 酔	805 805	093(662)6565 093(662)0660
岩 井 俊 郎	H7	1. 九州大学附属病院心臓外科: 福岡市東区馬出町3-1-1 2. 福岡市東区箱崎3-36 30棟603	九 大 心 外 科	812-82 812	092(641)1151 092(633)4780
宗 英 吾	H7	1. 長大附属病院耳鼻咽喉科 2. 長崎市片淵3-6-3	耳 鼻 科	852 850	0958(47)2111 0958(21)8868

氏 名	卒業年	1. 勤務先・勤務先住所 2. 現住所	医 局	〒	電話番号
中 桶 了 太	H7	1. 国立長崎中央病院: 大村市久原2丁目1001-1 2. 大村市久原2丁目1001-1 離島医師宿舎	細 菌 学	856 856	0957(52)3121 0957(54)4746
藤 本 武 士	H7	1. 長大附属病院第1内科 2. 長崎市滑石6丁目10-15	1 内	852 852	0958(47)2111 0958(56)7819
松 尾 敏 明	H7	1. 長野佐久総合病院: 長野県南佐久郡臼田町197 2. 長野県南佐久郡臼田町大字臼田 2045 医師住宅1号		384-03 384-03	0267(82)3131 0267(82)7749
安 田 恵多良	H7	1. 大阪大学附属病院脳外科: 大阪府吹田市山田丘2-2 2. 大阪府吹田市南正雀4-5-6-321	阪 大 脳 外 科	565 564	06(876)5111 06(382)8766
古 賀 洋 安	H8	1. 久留米大学附属病院小児科: 福岡県久留米市旭町67 2. 福岡県三池郡高田町大字江浦 434-2	久留米大小児科	830 839-02	0942(35)3311 0944(22)2048
杉 浦 利 彦	H8	1. 飯塚病院 2. 福岡県飯塚市大字立岩1300 メゾン立岩507	九 大 心 外 科	820 820	0948(22)3800 (未定)
関 徹	H8	1. 東北大学附属病院神経精神科: 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1 2. 宮城県仙台市青葉区 柏木1丁目9番11号304	東 北 大 神 経 精 神 科	980-77 981	022(717)7262 022(274)6311
武 野 正 義	H8	1. 長大附属病院第3内科 2. 長崎市平野町9-28 コンフォート平野町205	3 内	852 852	0958(47)2111 0958(43)2716
福 田 顕 三	H8	1. 長大附属病院第2外科 2. 長崎市平和町14-15 平和34舩田ビル103	2 外	852 852	0958(47)2111 0958(44)3016
山 里 昌 司	H8	1. 長大附属病院第3外科 2. 長崎市岩川町10-15 光輪ハイツ506	3 内	852 852	0958(47)2111 0958(47)7842

長崎大学医学部漕艇部現役部員名簿

学 年	氏 名	出身校	1. 現住所 2. 帰省先	〒	電話番号
5	岡 真一郎	岩 田	1. 三原町1338 シャトー竹内205 2. 大分市明礪四組	852 870	(42)1199 0975(44)1505
5	岡 田 和一郎	豊 橋 南	1. 三原町1338 シャトー竹内205 2. 愛知県渥美郡渥美町石神西沖田7	852 441-36	(42)1211 05313(7)0001
5	牟田口 滋	久 留 米 附 設	1. 大橋町5-8 グランピアマンション長崎501 2. 福岡市中央区小笹5丁目16-52	852	(42)1425 092(531)5328
4	大 石 正 雄	松 江 北	1. 小峰町14-17 コーポ小峰102 2. 松江市黒田町487-11	852 690	(42)1482 0852(24)2785
4	古 賀 聖 士	三 池	1. 三原町1338 竹内マンション新館601 2. 福岡県大牟田市小浜町25	852 836	(48)5949 0944(52)5451
4	崎 元 暢	鶴 丸	1. 扇町31-21 Ben 匠8番館10D 2. 鹿児島市東千石4-12	852 892	(42)3364 0992(25)2495
4	山 崎 励 至	島 原	1. 本原町27-2 コーポ本原301 2. 島原市城内2-1010	852 662	(48)6779 0957(62)7042
3	鶴 瀬 匡 祐	長 崎 南	1. 扇町26-5 パティ清水 2. 南松浦郡若松町浦内142-7	852 853-23	(47)3797 0959(46)3209
3	高 橋 優 二	諫 早	1. 文教町12-3 ライオンズマンション609 2. 諫早市船越名1030	852	(48)2841 0957(23)7309
3	谷 川 治	宮 崎 西	1. 大橋町23-23 コーポ小笹202号 2. 宮崎県都城市早鈴町1658-3	852 885	(43)6282 0986(22)6336
3	福 田 義 文	甲陽学院	1. 坂本1丁目13-40 金子荘201 2. 神戸市西区竹の台4丁目21-5	852 651-22	(49)4631 078(991)5883
3	牧 野 淳	慶応志木	1. 石神町3-5 中村ビル502 2. 千葉市花見川区さつきが丘2-40-31	852 262	(45)2497 043(250)8611

学 年	氏 名	出身校	1. 現住所 2. 帰省先	〒	電話番号
3	宮 崎 浩 充	七 尾	1. 本原町39-3 ステューダント帝307 2. 石川県七尾市池崎町は-47-2	852 926	(46)6590 0767(57)3170
3	山 本 経 之	延 岡	1. 大手2丁目8-10-201 2. 延岡市平原町3丁目1227-2	852 882	(46)3494 0982(21)4685
3	吉 野 俊 平	茗 溪	1. 坂本2丁目10-11-207 2. 茨城県新治郡八郷町小幡3795-2	852 315-01	(47)4563 0299(42)3996
2	及 川 将 弘	泰 星	1. 花丘町3-23 グランピアⅡ302 2. 福岡市中央区平尾2-21-27	852 092	(43)9209 092(522)2788
2	尾 石 義 謙	ラサール	1. 岡町9-20 岡町ハイム401 2. 福岡県粕屋郡粕屋町伸原435	852 811-31	(48)6058 092(938)2809
2	渋谷 正 樹	愛 光	1. 平野町3-25 サンスイマンション105 2. 防府市牟礼1000-5	852 747	(46)9009 0835(21)5500
2	土 井 晋 平	芦 屋	1. 岩川町19-18 第二政ビル402 2. 兵庫県芦屋市新浜町2-3-603	852 659	(48)6219 0797(34)1710
2	蓬 菜 彰 士	修 猷 館	1. 川口町7-4 第5松尾ビル201 2. 福岡市中央区今川2-9-5	852 810	(42)1979 092(714)2456
2	程 野 茂 樹	愛 光	1. 坂本1丁目6-15 レジデンス久保301 2. 愛媛県伊予市下吾川676-1	852 799-31	(46)6674 0899(83)3504
2	松 永 祥 志	佐世保西	1. 小峰町14-16 シャルムK201 2. 佐世保市小舟町71-1	852 857-01	(42)3663 0956(46)1950
2	森 創	青 雲	1. 橋口町14-17 アムロハイツ301 2. 西彼杵郡多良見町化屋1-128	852 859-04	(44)3801 0957(43)3290
1	ウイ・クァン・ロン	カニシウス	1. 坂本町2-10-28 2. JLGEDUNG HIJAU III/14 DONDOK INDAH JAKARTA SELATAN	852	(49)5144

学 年	氏 名	出身校	1. 現住所 2. 帰省先	〒	電話番号
1	蒲 池 徹	大 村	1. 平和町19-4 山口ビル204 2. 長崎県大村市松並2-855-10	852 856	(43)3607 0957(54)5948
1	松 本 周 平	富 士	1. 本原町9-22 本原コースハイツ101 2. 静岡県富士市富士見台2-4-15	852	(49)2815 0545(21)1963
1	諸 藤 陽 一	巢 鴨	1. 平和町10-17 ニュー山里ビル306 2. 福岡県小郡市三国が丘2丁目136	852	(49)6149 0942(75)3774

編集後記

前号で、部誌の編集に携わられた先輩方の御指導のおかげで、スムーズに部誌を製作することができました。例年の部誌と比べて多少簡素になった印象をもたれるかも知れませんが、このペースで、毎年確実に1号ずつ発刊できるように、次の編集責任者へ伝えていきたいと思っています。次号担当の方はがんばってください。

尚、本誌は、協賛して頂いた会社の御援助により製作されており、協賛して下さいった会社は次の通りです。

今回の「漕魂」発行に対し
御援助くださった企業（五十音順）

旭化成工業株式会社
エーザイ株式会社
大塚製薬株式会社
小野薬品工業株式会社
協和醗酵工業株式会社
三共株式会社
サンド薬品株式会社
塩野義製薬株式会社
ゼネカ薬品工業株式会社
ゼリア新薬工業株式会社
大鵬薬品工業株式会社
武田薬品工業株式会社
田辺製薬株式会社
第一製薬株式会社
ダイナボット株式会社
大日本製薬株式会社
中外製薬株式会社

株式会社ツムラ
富士化学工業株式会社
日本アップジョン株式会社
日本化薬株式会社
日本ケミファ株式会社
日本レグリー株式会社
バイエル薬品株式会社
万有製薬株式会社
ファイザー製薬株式会社
藤沢薬品工業株式会社
ヘキストジャパン株式会社
三井製薬株式会社
株式会社ミドリ十字
明治製菓株式会社
明持田製薬株式会社
山之内製薬株式会社
吉富製薬株式会社

以上

好意をもって援助して下さい誠に有り難うございました。

編集責任 岡真一郎

お願い

氏名・住所・電話番号・勤務先等を変更しましたら下記のハガキにて医学部漕艇部までご通知ください。

また通信欄には、ボート部に対する要望や、「漕艇」の不備を御指摘いただければ幸いです。

キリトリセン

後援会名簿資料として下記のように訂正します。

		年 卒	
氏 名		改姓等の場合は 新 氏 名	
現 住 所	〒		
	Tel () -		
勤 務 先	予定期間 ~		

通信欄

--